機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン［蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備］	Ｂ主給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	25回		
			2.分解点検（Ｂ１電動機）		104M	－	25回		
			3.分解点検（Ｂ２電動機）		104M	－	25回		
			4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		13M	○	25回		
	Ｃ主給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	25回		
			2.分解点検（Ｃ１電動機）		104M	－	25回		
			3.分解点検（Ｃ２電動機）		104M	－	25回		
			4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		13M	○	25回		
	Ａ給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	39M	○	25回		（振動診断［電動機］：3M）保全の有効性評価結果No.11の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	21回		
	Ｂ給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	25回		（振動診断［電動機］：3M）保全の有効性評価結果No.11の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	24回		
	Ｃ給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	25回		（振動診断［電動機］：3M）保全の有効性評価結果No.11の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	25回		
	Ａ復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	156M	○	21回		（振動診断：3M）保全の有効性評価結果No.12の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	25回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		13M	○	25回		
	Ｂ復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	156M	－	25回		（振動診断：3M）保全の有効性評価結果No.12の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	25回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		13M	○	25回		
	Ｃ復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	156M	－	25回		（振動診断：3M）保全の有効性評価結果No.12の反映（電動機）
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	25回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		13M	○	25回		
	Ａ 復水脱塩塔		1.開放点検	高	65M	－	24回	２次系容器検査	
	Ｂ 復水脱塩塔		1.開放点検	高	65M	－	25回	２次系容器検査	
	Ｃ 復水脱塩塔		1.開放点検	高	65M	○	21回	２次系容器検査	
	Ｄ 復水脱塩塔		1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系容器検査	
	Ｅ 復水脱塩塔		1.開放点検	高	65M	－	23回	２次系容器検査	
	復水タンク		1.開放点検	高	65M	－	25回	２次系容器検査	
	蒸気タービン［蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備］その他機器	1式	1.分解点検他	低	13M～130M	○	25回		一部先行実施
蒸気タービン［蒸気タービンに附属する管等］	主な配管（主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統）	1式	1.外観・目視点検	高	1F	○	25回	蒸気タービン開放検査	
			2.非破壊試験		肉厚管理指針による	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	２次系配管等※（上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統）※配管の他、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む。	1式	1.外観点検	高・低	100%/10Y	○	25回	２次系配管検査	定期事業者検査起動後
			2.非破壊試験		肉厚管理指針による	○	25回	２次系配管検査	
	蒸気タービン［蒸気タービンに附属する管等］その他機器	1式	1.分解点検他	高	52M	○	25回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ( ) 内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン ［その他設備］	蒸気タービン本体、蒸気タービンの附属設備		1. 保安装置点検	高	1F	○	25回	蒸気タービン性能検査	プラント運転中及び定検起動後
			2. 負荷点検		1F	○	25回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
	蒸気タービン ［その他設備］ その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	25回	原子炉補機冷却系機能検査 １次系弁検査 １次系安全弁検査 ２次系弁検査 ２次系安全弁検査	
			2. 分解点検		13M～260M	○	25回	２次系弁検査 １次系弁検査 １次系逆止弁検査	
			3. 簡易点検 （グランドパッキン取替）		52M～195M	○	25回		
	蒸気タービン ［その他設備］ その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	－	25回	１次系弁検査 ２次系弁検査 原子炉補機冷却系機能検査	
			2. 分解点検		52M～156M	○	25回		
			3. 簡易点検（特性点検）		13M	○	25回		
	蒸気タービン ［その他設備］ その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	25回		一部先行実施 （振動診断[湿分分離器ドレンポンプ用電動機，ＥＨガバナ油ポンプ用電動機，循環水ポンプ翼油ポンプ，循環水ポンプ翼油ポンプ用電動機]：4M，[２次系冷却水ポンプ，２次系冷却水ポンプ用電動機，低圧ドレンポンプ用電動機]：3M）
			1. 分解点検他	低	13M～260M	○	25回		一部先行実施一部BMあり（振動診断[復水処理装置廃液中和槽攪拌ﾌﾞﾛﾘ，復水処理装置廃液中和槽排水ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，再生用水ﾎﾟﾝﾌﾟ，再生用水ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，復水脱塩塔循環ﾎﾟﾝﾌﾟ，逆洗用水ﾎﾟﾝﾌﾟ，原水ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機]：12M，[復水器水室空気抜ﾎﾟﾝﾌﾟ，補助蒸気復水回収ﾀﾝｸﾎﾟﾝﾌﾟ]：6M，[循環水ﾎﾟﾝﾌﾟ潤滑水ﾎﾟﾝﾌﾟ，循環水ﾎﾟﾝﾌﾟ潤滑水ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，雑用空気圧縮機用電動機]：2M，[油清浄器ﾎﾟﾝﾌﾟ，油清浄器ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，復水器細管洗浄装置ﾎﾞｰﾙ循環ﾎﾟﾝﾌﾟ，油清浄器ﾌｧﾝ用電動機，主油ﾀﾝｸﾌｧﾝ用電動機，空気側密封油ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，水素側密封油ﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機，密封油ﾌﾛｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ用電動機]：3M
	その他ＡＭ（格納容器内注水）機器	1式	1. 分解点検他	高	52M～20Y	○	24回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（（）内は適用する設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設［補助ボイラー］	補助ボイラ系統	1式	1.外観点検	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー設備検査	プラント運転中 ※１ 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が４０００時間、かつ起動回数が１２０回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※２ 自主点検回次
	胴、管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1式	1.性能試験	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー性能検査	プラント運転中 ※１ 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が４０００時間、かつ起動回数が１２０回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※２ 自主点検回次
			2.開放点検		10Y※1	○	45回※2	補助ボイラー開放検査	プラント運転中 ※１ 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が４０００時間、又は起動回数が１２０回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※２ 自主点検回次
			3.開放点検他		5Y～20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※１　自主点検回次 （振動診断［A/B補助ボイラ給水ポンプ,A/B補助ボイラ給水ポンプ用電動機,A/B補助ボイラ加圧ポンプ,A/B補助ボイラ加圧ポンプ用電動機］：6M　［C補助ボイラ給水ポンプ,C補助ボイラ給水ポンプ用電動機,C補助ボイラ加圧ポンプ,C補助ボイラ加圧ポンプ用電動機］：12M　［補助ボイラ押込通風機用電動機］：4M）
			4.簡易点検（ホース取替）		5Y	○	42回※1		プラント運転中 ※１　自主点検回次
	燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵設備に係る油タンク	1式	1.開放点検	低	2Y～20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※１ 自主点検回次 （振動診断［補助ボイラ燃料ポンプ,補助ボイラ燃料ポンプ用電動機］：4M） 保全の有効性評価結果No.13の反映
	補助ボイラー集じん機 ばい煙処理設備に附属する空気圧縮機、通風機、破砕機又は摩砕機	1式	1.開放点検	低	10Y～20Y	－	38回※1		プラント運転中 ※１ 自主点検回次
	補助ボイラー附帯設備その他の弁	1式	1.機能・性能試験	低	B	－	46回※1	補助ボイラー設備検査	プラント運転中 ※１ 自主点検回次
			1.分解点検		1Y～10Y	○	46回※1		
	補助ボイラー附帯設備その他機器	1式	1.分解点検他	低	1Y～20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※１ 自主点検回次

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設［非常用電源設備］	ディーゼル発電機	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機定格容量検査） 非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査）	
	安全注入信号及び内部スプレ信号発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	33台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査）	
	Aディーゼル発電機		1.分解点検	高	52M	－	25回		
	Bディーゼル発電機		1.分解点検	高	52M	－	25回		
	Aディーゼル機関		1.分解点検	高	26M	－	25回		
	Aディーゼル機関のシリンダ（ﾋﾟｽﾄﾝ、ﾋﾟｽﾄﾝ連接棒、ｼﾘﾝﾀﾞｶﾊﾞｰ、ｸﾗﾝｸ軸）	No.1	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.2	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.3	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.4	1.分解点検	高	130M	－	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.5	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.6	1.分解点検	高	130M	－	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.7	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.8	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.9	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.10	1.分解点検	高	130M	－	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.11	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.12	1.分解点検	高	130M	－	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関		1.分解点検	高	26M	○	25回		
	Bディーゼル機関のシリンダ（ﾋﾟｽﾄﾝ、ﾋﾟｽﾄﾝ連接棒、ｼﾘﾝﾀﾞｶﾊﾞｰ、ｸﾗﾝｸ軸）	No.1	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.2	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.3	1.分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.4	1.分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.5	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.6	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.7	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.8	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.9	1.分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.10	1.分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.11	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.12	1.分解点検	高	130M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の吸気弁	24個	1.分解点検	高	26M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の吸気弁	24個	1.分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の排気弁	24個	1.分解点検	高	26M	－	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の排気弁	24個	1.分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1.分解点検	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1.分解点検	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設［非常用電源設備］	ディーゼル発電機附属設備	1式	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	（振動診断［燃料弁冷却水ポンプ,燃料弁冷却水ポンプ用電動機］：1M,［温水循環ポンプ,温水循環ポンプ用電動機,潤滑油プライミングポンプ用］：3M）
			2.非破壊試験		13～39M	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	
			3.外観点検	高・低	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	
			4.特性試験		13M	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	
			5.分解点検		26M～130M	○	25回		
			6.開放点検	高	13M～130M	○	25回		
			7.漏えい試験		13M～39M	○	25回		
	空冷式非常用発電装置	2台	1.機能･性能試験	高	6M	○	25回	その他非常用発電装置の機能検査,その他非常用発電装置の附属設備検査	平成２３年１０月に設置
			2.取替他		10Y	－	－		
	電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	－	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
	電源車（緊急時対策所用）	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	－	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
	電源車	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	－	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
	燃料油貯蔵タンク	2台	1.開放点検	高	10F	－	－		25回施設検査時に設置
	タンクローリー	3台	1.外観点検他	高	6M～1Y	○	－		25回施設検査時に設置 消防法に基づく点検
	その他発電用原子炉の附属施設［非常用予備発電装置］その他の弁	1式	1.分解点検	高・低	13M～130M	○	25回		
	その他発電用原子炉の附属施設［非常用予備発電装置］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～195M	○	25回		
			1.分解点検他	低	13M～260M	○	25回		一部BMあり
	直流電源装置蓄電池	2組(60個／組)	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	直流電源系機能検査は25回施設定期検査より追加
			2.機能・性能試験（動作機能）		1F	○	25回	直流電源系作動検査	直流電源系作動検査は25回施設定期検査より追加
			3.簡易点検（充電）		2回/Y	○	25回		プラント運転中又は定検停止中
	計器用電源	4台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	
			2.特性試験他		13M	○	25回		
	ＳＡ監視用計器用電源	1台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	25回施設検査時に設置
			2.特性試験他		13M	○	25回		
	可搬式整流器	3台	1.外観点検	高	1Y	○	－		25回施設検査時に設置
			2.電圧測定		1Y	○	－		
	可搬型バッテリ（加圧器逃がし弁用）	2台	1.外観点検	高	1Y	○	－		25回施設検査時に設置
			2.電圧測定		1Y	○	－		
	その他発電用原子炉の附属施設［その他の電源装置］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～273M	○	25回		
			1.分解点検他	低	13M～208M	○	25回		一部BMあり
その他発電用原子炉の附属施設［常用電源設備］	発電機設備	1式	1.分解点検他	高	13M～104M	○	25回		
	変圧器設備	1式	1.分解点検他	高	13M～78M	○	25回		
	しゃ断器	1式	1.分解点検他	高	156M	－	25回		
	その他発電用原子炉の附属施設［常用電源設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～364M	○	25回		振動診断[相分離母線冷却ファン電動機]：6M
			1.分解点検他	低	13M～208M	○	25回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設［火災防護設備］	電動消火ポンプ・電動機	1台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	25回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中（振動診断［電動機］：1M）
			2.分解点検（ポンプ）		4Y	－	25回		
			3.分解点検（電動機）		CBM	－	－		
	消火水ポンプ	2台	1.機能・性能試験	高	B※	－	－	火災防護設備検査	B※：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 25回施設定検時に設置
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	－		
			3.分解点検（電動機）		130M	－	－		
	消火水タンク	8台	1.開放点検	高	130M	－	－		25回施設定検時に設置
	煙等流入防止装置	1式	1.取替	高	130M	－	－		25回施設定検時に設置
	オイルパン、ドレンパン（燃料取替用水ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう酸ポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他）	1式	1.外観点検	低	10F	－	－		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
	その他発電用原子炉の附属施設［火災防護設備］ その他機器	1式	1.特性試験他	高	1Y～130M	○	－		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設［浸水防護設備］	浸水防止蓋	1式	1.外観点検他	高	1M～130M	○	－		25回施設定検時に設置
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1式	1.外観点検	高	10Y	－	－		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
	水密扉	1式	1.外観点検	高	1F	○	－		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
	潮位計	2台	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	－	計測制御系監視機能検査	25回施設定検時に設置(1台)
	津波監視カメラ	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	－	計測制御系監視機能検査	25回施設定検時に設置
	湧水サンプ排水系統		1.機能・性能試験	低	B※	－	－	浸水防護設備検査	25回施設定検時に設置 B※：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
	湧水サンプポンプ・電動機	1台	1.分解点検（ポンプ）	低	130M	－	－		（メガ測定：1F） 25回施設定検時に設置 （水中ポンプから横型ポンプに変更）
			2..分解点検（電動機）		CBM	－	－		
	その他発電用原子炉の附属施設［浸水防護施設］ その他の弁	1式	1.機能・性能試験	低	B	－	－	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、25回施設定検から設定
			2.分解点検		91M	－	－		
	その他発電用原子炉の附属施設［浸水防護施設］ その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	低	B	－	－	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、25回施設定検から設定
			2.分解点検		156M	－	－		
	その他発電用原子炉の附属施設［浸水防護施設］ その他機器	1式	1.外観点検他	高・低	10Y	－	－		25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設［補機駆動用燃料設備］	軽油用ドラム缶	32個	1.取替	高	2Y	－	－		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設［非常用取水設備］	海水ポンプ室	1式	1.外観点検	高	1Y	○	25回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
土木建築設備	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋（タービン架台）		1.非破壊試験	高・低	5Y	○	25回		
	原子炉建屋	1式	1.外観点検	高・低	1F	○	25回		プラント運転中又は定検停止中
	取水口設備	1式	1.外観点検	高	1F	○	25回		プラント運転中又は定検停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備（補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く）		1.総合性能試験	高	1F	○	25回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
全般機器	諸機器		1.分解点検他	低	13M～104M	○	25回		（振動診断［スクリーン洗浄ポンプ用電動機］：4M） 一部先行実施

クラス１機器供用期間中検査７年計画

１．原子炉容器（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４※1					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル※2	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体　積	１００％	１シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体　積	１００％	１シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
B1.102		中間胴の長手溶接継手	体　積	１００％	３シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
		下部胴の長手溶接継手	体　積	１００％	３シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
B2.111	B-B	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体　積	１００％	１シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
B2.121		下部鏡板の周溶接継手	体　積	１００％	１シーム	ＵＴ	１００％（可能範囲）			－	100%		－		
B2.122		下部鏡板の長手溶接継手	体　積	１００％	４シーム	ＵＴ	１００％（可能範囲）		5%	－	100%		－		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体　積	１００％	１シーム	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		100%	－		
B3.106		上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体　積	１００％	１シーム	ＵＴ	１００％（可能範囲）	20%	20%	－	20%	20%	－	20%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体　積	１００％	３箇所	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		3箇所	－		
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体　積	１００％	３箇所	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		3箇所	－		
B3.20		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体　積	１００％	３箇所	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		3箇所	－		
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体　積	１００％	３箇所	水中ＵＴ（内面）	１００％（可能範囲）			－		3箇所	－		

※１：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2002年版：2008年度～2013年6月（本サイクル開始～新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用まで）

・維持規格2008年版：2013年7月～2019年5月（新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～亀裂解釈NRA文書改正まで）

１．原子炉容器（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	１００％	３箇所	水中ＵＴ・ＰＴ（内面）	１００％（可能範囲）		Cﾙｰﾌﾟ（PT）	－		3箇所（UT）Bﾙｰﾌﾟ（PT）	－	Aﾙｰﾌﾟ（PT）	
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	１００％	３箇所	水中ＵＴ・ＰＴ（内面）	１００％（可能範囲）	Aﾙｰﾌﾟ（PT）		－	Bﾙｰﾌﾟ（PT）	3箇所（UT）Cﾙｰﾌﾟ（PT）	－		
B6.10	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１００％	５８個	ＶＴ－１	１００％	11個	12個	－	12個	12個	－	11個	
B6.30		スタッドボルト	体積	１００％	５８本	ＵＴ	１００％	11本	12本	－	12本	12本	－	11本	
B6.40		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	１００％	５８箇所	ＵＴ	１００％	11箇所	12箇所	－	12箇所	12箇所	－	11箇所	
B6.50		上蓋用ワッシャ	ＶＴ－１	１００％	５８個	ＶＴ－１	１００％	11個	12個	－	12個	12個	－	11個	
B7.10	B-G-2	Ｔ／Ｃハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	ＶＴ－１	２５％	４組	ＶＴ－１	２５％（１組）		1組	－			－		
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の２５％	２０箇所	ＰＴ	最外周の２５％（５箇所）		2箇所	－	3箇所		－		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	100%	100%	－	100%	100%	－	100%	
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	２５％	６箇所	ＶＴ－３	２５％（２箇所）		1箇所（C出口）	－			－	1箇所（A入口）	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	ＶＴ－３	７．５％	１基	ＶＴ－３（水中テレビ）	各検査時期に１００％（可能範囲）		100%	－			－	100%	
G1.40		内部取付け物	ＶＴ－３	７．５％	４箇所	ＶＴ－３（水中テレビ）	１００％（可能範囲）			－		－	－	－	下段の構造物・取付け物に統合
G1.40		構造物・取付け物	ＶＴ－３	７．５％	１基	ＶＴ－３（水中テレビ）	１００％（可能範囲）			－			－	100%	
G1.50	G-P-2	炉心支持構造物	ＶＴ－３	７．５％	１基	ＶＴ－３（水中テレビ）	１００％（可能範囲）			－			－	100%	

２．加圧器（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体　積	５％	１シーム	ＵＴ	５％	2.5%		－	2.5%		－		
		下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体　積	５％	１シーム	ＵＴ	５％	2.5%		－	2.5%		－		
B2.12		上部胴の長手溶接継手	体　積	１０％	２シーム	ＵＴ	１０％		5%	－			－	5%	
		下部胴の長手溶接継手	体　積	１０％	２シーム	ＵＴ	１０％		5%	－			－	5%	
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体　積	５％	１シーム	ＵＴ	５％	2.5%		－	2.5%		－		
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手													
		安全弁用管台と容器との溶接継手	体　積	管台数の２５％	３箇所	ＵＴ	管台数の２５％（２箇所）			－			－		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			１箇所					－			－		
		スプレ用管台と容器との溶接継手			１箇所					－		1箇所	－		
		サージ用管台と容器との溶接継手			１箇所				1箇所	－			－		
B3.40		管台内面の丸みの部分													
		安全弁用管台内面の丸みの部分	体　積	管台数の２５％	３箇所	ＵＴ	管台数の２５％（２箇所）			－			－		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			１箇所					－			－		
		スプレ用管台内面の丸みの部分			１箇所					－		1箇所	－		
		サージ用管台内面の丸みの部分			１箇所				1箇所	－			－		
B5.40	B-F	管台とセーフエンドとの溶接継手（呼び径100A以上）													
		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体　積及び表面	管台数の２５％	３箇所	ＵＴ・ＰＴ	管台数の２５％（２箇所）			－	1箇所		－		
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			１箇所					－			－		
		スプレ用管台とセーフエンドとの溶接継手			１箇所			1箇所		－			－		
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手			１箇所					－			－		

２．加圧器（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	ＶＴ－１	２５％	１６本	ＶＴ－１	２５％（４本）		2本	－			－	2本	
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手（支持スカートの溶接継手）	表　面	７．５％	１シーム	ＰＴ	７．５％	4%		－	3.5%		－		
B15.20	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	100%	100%	－	100%	100%	－	100%	
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	２５％	１箇所	ＶＴ－３	２５％（１箇所）			－		1箇所	－		

３．蒸気発生器（１／１）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体　積	代表1基の２５％	1ｼｰﾑ／基×３基	ＵＴ	代表１基の２５％		A 15%	－		A 10%	－		
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体　積	代表1基の２５％	２箇所／基×３基	ＵＴ	代表１基の２５％（１箇所）			－			－	A入口1箇所	
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体　積及び表面	代表1基の２５％	２箇所／基×３基	ＵＴ・ＰＴ	代表１基の２５％（１箇所）			－			－	A入口1箇所	＊
B7.30	B-G-2	１次側マンホールの取付ボルト	ＶＴ－１	代表1基の２５％	２０本×２箇所／基×３基	ＶＴ－１	代表１基の２５％（１０本）		A 5本	－		A 5本	－		
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手（水室鏡とサポートパッドとの溶接継手）	表　面	代表1基の７.５％	４箇所／基×３基	ＰＴ	代表１基の７.５％（１箇所）			－	A 1箇所		－		
B15.30	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	100%	100%	－	100%	100%	－	100%	
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	代表1基の２５％	４箇所／基×３基	ＶＴ－３	代表１基の２５％（１箇所）			－			－	A 1箇所	

＊：「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査」も合わせて実施

４．配管（１／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B7.50	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット													
		封水注入ライン	ＶＴ－１	２５％	９箇所	ＶＴ－１	２５％（３箇所）		１箇所	－	２箇所		－		
B9.11	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A以上）													
		主冷却材管	体　積	２５％	３６箇所	ＵＴ	２５％（９箇所）	２箇所	２箇所	－	２箇所	２箇所	－	１箇所	
		加圧器サージライン	体　積	２５％	６箇所	ＵＴ	２５％（２箇所）		１箇所	－		１箇所	－		
		アキュムレータ注入ライン	体　積	２５％	２９箇所	ＵＴ	２５％（８箇所）	４箇所		－			－	４箇所	
		高温側低圧注入ライン	体　積	２５％	２６箇所	ＵＴ	２５％（７箇所）		３箇所	－		４箇所	－		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体　積	２５％	４５箇所	ＵＴ	２５％（１２箇所）	３箇所		－	５箇所		－	４箇所	
		加圧器安全弁ライン	体　積	２５％	３０箇所	ＵＴ	２５％（８箇所）		３箇所	－			－	５箇所	
		低温側低圧注入ライン	体　積	２５％	４５箇所	ＵＴ	２５％（１２箇所）	５箇所		－	５箇所		－	２箇所	
		加圧器逃がしライン	体　積	２５％	１２箇所	ＵＴ	２５％（３箇所）		１箇所	－		２箇所	－		
		加圧器スプレライン	体　積	２５％	９８箇所	ＵＴ	２５％（２５箇所）	４箇所	４箇所	－	４箇所	３箇所	－	１０箇所	
		高温側補助注入ライン	体　積	２５％	７箇所	ＵＴ	２５％（２箇所）			－		１箇所	－	１箇所	
B9.21		配管の周溶接継手（呼び径100A未満）													
		主冷却材管	表　面	２５％	１箇所	ＰＴ	２５％（１箇所）			－			－	１箇所	
		加圧器逃がしライン	表　面	２５％	１０箇所	ＰＴ	２５％（３箇所）		１箇所	－		２箇所	－		
		充てんライン	表　面	２５％	９箇所	ＰＴ	２５％（３箇所）	２箇所		－	２箇所		－		
		抽出及び冷却材ドレンライン	表　面	２５％	４１箇所	ＰＴ	２５％（１１箇所）	５箇所		－	３箇所		－	３箇所	
		クロスオーバレグ分岐閉止管	表　面	２５％	６箇所	ＰＴ	２５％（２箇所）		１箇所	－		１箇所	－		
		加圧器補助スプレライン	表　面	２５％	３３箇所	ＰＴ	２５％（９箇所）			－	１箇所		－	８箇所	
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	２５％	２３箇所	ＰＴ	２５％（６箇所）	１箇所		－		２箇所	－	３箇所	
		高温側補助注入ライン	表　面	２５％	３９箇所	ＰＴ	２５％（１０箇所）		４箇所	－			－	６箇所	
		低温側補助注入ライン	表　面	２５％	１０箇所	ＰＴ	２５％（３箇所）	1箇所		－	２箇所		－		

４．配管（２／５）

維持規格 ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）											備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100A以上）													
		主冷却材管	体　積	２５％	１４箇所	ＵＴ	２５％（４箇所）		２箇所	－			－	２箇所	
B9.32		母管と管台との溶接継手（呼び径100A未満）													
		主冷却材管	表　面	２５％	１７箇所	ＰＴ	２５％（５箇所）	２箇所		－	３箇所		－		
		加圧器スプレライン	表　面	２５％	１箇所	ＰＴ	２５％（１箇所）			－					
		加圧器スプレライン	表　面	２５％	０箇所	ＰＴ	２５％（０箇所）					－	－	－	改造工事により全設備撤去
		高温側低圧注入ライン	表　面	２５％	２箇所	ＰＴ	２５％（１箇所）			－			－	１箇所	
		低温側低圧注入ライン	表　面	２５％	６箇所	ＰＴ	２５％（２箇所）		１箇所	－		１箇所	－		
B9.40		ソケット溶接継手													
		主冷却材管	表　面	２５％	４箇所	ＰＴ	２５％（１箇所）			－	１箇所		－		
		加圧器補助スプレライン	表　面	２５％	２０箇所	ＰＴ	２５％（５箇所）	２箇所		－					
		加圧器補助スプレライン	表　面	２５％	０箇所	ＰＴ	２５％（０箇所）					－	－	－	改造工事により全設備撤去
		抽出及び冷却材ドレンライン	表　面	２５％	１箇所	ＰＴ	２５％（１箇所）			－	１箇所		－		
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	２５％	２１箇所	ＰＴ	２５％（６箇所）	４箇所		－		２箇所	－		
		高温側補助注入ライン	表　面	２５％	８箇所	ＰＴ	２５％（２箇所）		３箇所	－			－		
		低温側補助注入ライン	表　面	２５％	８箇所	ＰＴ	２５％（２箇所）	１箇所		－	１箇所		－		
		封水注入ライン	表　面	２５％	１１５箇所	ＰＴ	２５％（２９箇所）	５箇所	６箇所	－	６箇所	６箇所	－	６箇所	
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手													
		加圧器サージライン	表　面	７．５％	１箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）			－			－	１箇所	
		加圧器逃がしライン	表　面	７．５％	２箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）			－		１箇所	－		
		加圧器スプレライン	表　面	７．５％	２箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）			－	１箇所		－		
		抽出ライン	表　面	７．５％	２箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）		１箇所	－			－		
		充てんライン	表　面	７．５％	１箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）	１箇所		－			－		

４．配管（３／５）

維持規格 ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）											備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手													
		余熱除去ポンプ入口ライン	表　面	７．５％	１５箇所	ＰＴ	７．５％（２箇所）			－			－	２箇所	
		アキュムレータ注入ライン	表　面	７．５％	１０箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）		１箇所	－			－		
		高温側低圧注入ライン	表　面	７．５％	８箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）			－		１箇所	－		
		低温側低圧注入ライン	表　面	７．５％	９箇所	ＰＴ	７．５％（１箇所）			－	１箇所				
		低温側低圧注入ライン	表　面	７．５％	０箇所	ＰＴ	７．５％（０箇所）					－	－	－	改造工事により全設備撤去
B15.50	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	１００％	１００％	－	１００％	１００％	－	１００％	
F1.10	F-A	支持構造物													
		加圧器サージライン	ＶＴ－３	２５％	8箇所 MS 5	ＶＴ－３	２５％（２箇所）			－			－	１箇所	
					SH 3					－	１箇所		－		
		加圧器スプレライン	ＶＴ－３	２５％	88箇所 RH 32	ＶＴ－３	２５％（２２箇所）		３箇所	－			－	５箇所	
					MS 48				４箇所	－		４箇所	－	４箇所	
					SH 8					－	３箇所		－		
					AN 0				１箇所	－			－		
		加圧器補助スプレライン	ＶＴ－３	２５％	30箇所 RH 17	ＶＴ－３	２５％（８箇所）		２箇所	－			－	３箇所	
					MS 11					－	１箇所		－	２箇所	
					SH 1					－			－		
					AN 1					－			－		

４．配管（４／５）

維持規格 ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
									第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル		
F1.10	F-A	支持構造物															
		充てんライン	ＶＴ－３	２５％	4箇所	MS 3	ＶＴ－３	２５％（１箇所）		１箇所	－			－			
						SH 1					－			－			
		加圧器逃がしライン	ＶＴ－３	２５％	16箇所	RH 8	ＶＴ－３	２５％（４箇所）		１箇所	－		１箇所	－			
						MS 5					－	１箇所		－			
						SH 2					－		１箇所	－			
						AN 1					－			－			
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	２５％	46箇所	RH 6	ＶＴ－３	２５％（12箇所）		１箇所	－			－			
						MS 27				１箇所	－			－	７箇所		
						SH 12					－			－	３箇所		
						AN 1					－			－			
		抽出及び冷却材ドレンライン	ＶＴ－３	２５％	19箇所	RH 4	ＶＴ－３	２５％（５箇所）			－	１箇所		－			
						MS 12				１箇所	－	２箇所		－			
						HS 1					－			－			
						SH 2				１箇所	－			－			
		高温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	２５％	21箇所	RH 5	ＶＴ－３	２５％（６箇所）		１箇所	－	１箇所		－			
						MS 12				１箇所	－		２箇所	－			
						SH 4					－		１箇所	－			

４．配管（５／５）

維持規格					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
									第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル		
F1.10	F-A	支持構造物															
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－３	２５％	41箇所	RH 5	ＶＴ－３	２５％（１１箇所）			－			－	１箇所		
						MS 18				５箇所	－			－	１箇所		
						HS 9					－		２箇所	－			
						SH 9					－	２箇所		－			
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	２５％	33箇所	RH 16	ＶＴ－３	２５％（９箇所）		１箇所	－			－	４箇所		
						MS 13					－		３箇所	－			
						SH 2					－			－	１箇所		
						AN 2				３箇所	－			－			
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	２５％	28箇所	RH 18	ＶＴ－３	２５％（７箇所）		３箇所	－	３箇所		－			
						MS 6					－		１箇所	－			
						HS 2					－			－	１箇所		
						AN 2					－			－			
		高温側補助注入ライン	ＶＴ－３	２５％	25箇所	RH 19	ＶＴ－３	２５％（７箇所）		１箇所	－			－	４箇所		
						MS 5				１箇所	－			－	１箇所		
						HS 1				１箇所	－			－			
		低温側補助注入ライン	ＶＴ－３	２５％	12箇所	RH 5	ＶＴ－３	２５％（３箇所）		１箇所	－			－			
						MS 7					－			－	２箇所		
		封水注入ライン	ＶＴ－３	２５％	60箇所	RH 53	ＶＴ－３	２５％（１５箇所）		７箇所	－	３箇所	３箇所	－			
						MS 7					－			－	２箇所		

５．ポンプ（１／１）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体　積	代表1台の２５％	２４本／台×３台	ＵＴ	代表１台の２５％（６本）			－	Ｃ６本		－		
B6.190		フランジ表面	ＶＴ－１	代表1台の２５％	２４箇所／台×３台	ＶＴ－１	代表１台の２５％（６箇所）			－	Ｃ６箇所		－		
B6.200		ナット及びワッシャ	ＶＴ－１	代表1台の２５％	２４組／台×３台	ＶＴ－１	代表１台の２５％（６組）			－	Ｃ６組		－		
B10.30	B-K	ポンプ支持部材取付溶接継手	表　面	代表1台の７．５％	３箇所／台×３台	ＰＴ	代表１台の７．５％（１箇所）			－	Ｃ１箇所		－		
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの溶接継手	体　積又は表　面	代表1台の２５％	１箇所／台×３台	ＰＴ	代表１台の２５％（１箇所）			－	Ｃ１箇所		－		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	ＶＴ－３	代表1台の１００％	１／台×３台	ＶＴ－３	代表１台の１００％			－	Ｃ１００％		－		
B15.60	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	１００％	１００％	－	１００％	１００％	－	１００％	
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	代表1台の２５％	３箇所／台×３台	ＶＴ－３	代表１台の２５％（１箇所）			－	Ｃ１箇所		－		

６．弁（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット													
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	３個	ＶＴ－１	代表１個の１００％		１個	－			－		RV58SB
		加圧器逃がしライン（１）	ＶＴ－１	代表１個の２５％	２個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－	１個		－		GM58FN
		加圧器逃がしライン（２）	ＶＴ－１	代表１個の２５％	２個	ＶＴ－１	代表１個の１００％		１個	－			－		IA58RGP
		加圧器スプレライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	２個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－	１個		－		RA58RGA
		加圧器補助スプレライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	１個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－		１個	－		IA58RB
		抽出ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	２個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－			－	１個	IA58RB
		高温側低圧注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	４個	ＶＴ－１	代表１個の１００％	１個		－			－		C58
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	６個	ＶＴ－１	代表１個の１００％		１個	－			－		C58
		充てんライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	２個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－	１個		－		C58
		高温側補助注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	１個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－		１個	－		C58
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	４個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－			－	１個	GM58
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％	６個	ＶＴ－１	代表１個の１００％			－			－	１個	C58

６．弁（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）											備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
B12.30	B-M-1	弁箱の溶接継手（呼び径100A未満）													
		加圧器補助スプレライン	表　面	代表１個の２５％	１ｼｰﾑ/個×１個	ＰＴ	代表１個の１００％		1ｼｰﾑ	－					C58
		加圧器補助スプレライン	表　面	代表１個の２５％	０個	ＰＴ	代表１個の１００％					－	－	－	改造工事により全設備撤去
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	代表１個の２５％	１ｼｰﾑ/個×３個	ＰＴ	代表１個の１００％		1ｼｰﾑ	－			－		C58
		高温側補助注入ライン	表　面	代表１個の２５％	１ｼｰﾑ/個×６個	ＰＴ	代表１個の１００％			－	1ｼｰﾑ		－		C58
		低温側補助注入ライン	表　面	代表１個の２５％	１ｼｰﾑ/個×３個	ＰＴ	代表１個の１００％			－	1ｼｰﾑ		－		C58
		封水注入ライン	表　面	代表１個の２５％	１ｼｰﾑ/個×６個	ＰＴ	代表１個の１００％			－		1ｼｰﾑ	－		C58
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面													
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	３個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		１個	－			－		RV58SB
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	４個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個			－	１個		－		GM58
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	６個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個			－			－	１個	C58
		高温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	４個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個			－		１個	－		C58
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	６個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個			－			－	１個	C58
		高温側補助注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個	１個	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個			－		１個	－		C58
B15.70	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％	１式	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％（可能範囲）	100%	100%	－	100%	100%	－	100%	
F1.41	F-A	支持構造物													
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％	１箇所/個×３個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－	１箇所		－		RV58SB
		加圧器逃がしライン（１）	ＶＴ－３	代表１個の２５％	３箇所/１個 ２箇所/１個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－	１箇所		－		GM58FN
		加圧器逃がしライン（２）	ＶＴ－３	代表１個の２５％	２箇所/個×２個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－			－	１箇所	IA58RGP
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％	２箇所/個×３個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－			－	１箇所	GM58
		加圧器スプレライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％	３箇所/１個 ２箇所/１個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－			－	１箇所	RA58RB
		加圧器補助スプレライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％	３箇所/個×１個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－		１箇所	－		IA58RB
		抽出ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％	２箇所/個×２個	ＶＴ－３	代表１個の２５％（１箇所）			－		１箇所	－		IA58RB

原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲拡大に伴う特別検査計画

７．配管

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備考
					設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第23回	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
－	－	配管と管台の溶接継手													
		余熱除去ポンプ入口ライン	表　面	１００％	５箇所	ＰＴ	１００％（５箇所）			－	５箇所＊		－		

＊：再稼働前の自主点検にて、外面PTを全数実施し、異常のないことを確認済み

クラス２機器供用期間中検査１０年計画

１．余熱除去クーラ

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014※1					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
C1.20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体　積	１つの容器の7.5%	１ｼｰﾑ／基×２基	ＵＴ	１つの容器の7.5%			2.5%			2.5%		2.5%			
C2.21	C-B	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体　積及び表面	7.5%	１箇所／基×２基	ＵＴ・ＰＴ	7.5%（１箇所）			１箇所								
		管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体　積及び表面	7.5%	１箇所／基×２基	ＵＴ・ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					

※１：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版：2012年～2019年5月（本サイクル開始～亀裂解釈NRA文書改正まで）

２．配管

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手																
		余熱除去クーラバイパスライン	表面	7.5%	4箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					
		高温側ループ注入ライン	表面	7.5%	16箇所	ＰＴ	7.5%（２箇所）			１箇所					１箇所			
		低温側ループ注入ライン	表面	7.5%	31箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	表面	7.5%	10箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	11箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	18箇所	ＰＴ	7.5%（２箇所）				１箇所				１箇所			
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	21箇所	ＰＴ	7.5%（２箇所）			１箇所					１箇所			
		余熱除去クーラ出口ライン	表面	7.5%	38箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			
		補助注入ライン	表面	7.5%	7箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）				１箇所							
		Ａ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	4箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）				１箇所							
		Ｂ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	5箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	4箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）						１箇所					
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	4箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）				１箇所							
		格納容器サンプ戻りライン	表面	7.5%	7箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）				１箇所							
		燃料取替用水タンク出口ライン	表面	7.5%	2箇所	ＰＴ	7.5%（１箇所）			１箇所								

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
C5.11	C-F	配管の周溶接継手（呼び径100A超、肉厚9.5mm超）																
		高温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	33箇所	ＵＴ・ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			肉厚12.7mm超
		低温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	89箇所	ＵＴ・ＰＴ	7.5%（７箇所）			２箇所			２箇所		３箇所			肉厚12.7mm超
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	7.5%	35箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			肉厚12.7mm以下
		格納容器サンプ戻りライン	体積又は表面	7.5%	33箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			肉厚12.7mm以下
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積又は表面	7.5%	17箇所	ＰＴ	7.5%（２箇所）			１箇所					１箇所			肉厚12.7mm以下
C5.21	C-F	配管の周溶接継手（呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超）																
		補助注入ライン	表面	7.5%	35箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			
		Ａ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	59箇所	ＰＴ	7.5%（５箇所）			１箇所	２箇所				２箇所			
		Ｂ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	32箇所	ＰＴ	7.5%（３箇所）			１箇所	１箇所				１箇所			
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	51箇所	ＰＴ	7.5%（４箇所）			１箇所			１箇所		２箇所			
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	66箇所	ＰＴ	7.5%（５箇所）			１箇所	２箇所				２箇所			
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	81箇所	ＰＴ	7.5%（７箇所）			２箇所			２箇所		３箇所			
C5.30		ソケット溶接継手																
		Ａ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	46箇所	ＰＴ	7.5%（４箇所）			２箇所	１箇所				１箇所			
		Ｂ高温側補助注入ライン	表面	7.5%	70箇所	ＰＴ	7.5%（６箇所）			２箇所			２箇所		２箇所			
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	100箇所	ＰＴ	7.5%（８箇所）			４箇所	２箇所				２箇所			
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	61箇所	ＰＴ	7.5%（５箇所）			１箇所	２箇所				２箇所			

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）															
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	備考
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	7.5%	68箇所 RH 9	ＶＴ－３	7.5%（６箇所）											
					MS 6										１箇所			
					HS 34					２箇所			２箇所					
					SH 16										１箇所			
					AN 3													
		余熱除去ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	7.5%	41箇所 RH 5	ＶＴ－３	7.5%（４箇所）											
					HS 24					１箇所	２箇所							
					SH 8										１箇所			
					MS 4													
		余熱除去クーラ出口ライン	ＶＴ－３	7.5%	95箇所 RH 10	ＶＴ－３	7.5%（８箇所）								１箇所			
					MS 15						１箇所							
					HS 47					１箇所			２箇所		１箇所			
					SH 21					１箇所	１箇所							
					AN 2													

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）															
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	備考
									第25保全サイクル									第26保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																	
		余熱除去クーラバイパスライン	ＶＴ－３	7.5%	10箇所	RH 2	ＶＴ－３	7.5%（１箇所）											
						MS 1													
						HS 4						１箇所							
						SH 1													
						AN 2													
		高温側ループ注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	24箇所	RH 4	ＶＴ－３	7.5%（２箇所）											
						MS 3													
						HS 11					１箇所					１箇所			
						SH 6													
		低温側ループ注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	65箇所	RH 11	ＶＴ－３	7.5%（５箇所）						１箇所					
						MS 38					１箇所	１箇所				１箇所			
						HS 2													
						SH 12										１箇所			
						AN 2													
		補助注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	20箇所	RH 20	ＶＴ－３	7.5%（２箇所）			１箇所					１箇所			

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）															
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	備考
									第25保全サイクル									第26保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																	
		Ａ高温側補助注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	65箇所	RH 62	ＶＴ－３	7.5%（５箇所）			２箇所			１箇所		２箇所			
						HS 2													
						AN 1													
		Ｂ高温側補助注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	67箇所	RH 65	ＶＴ－３	7.5%（６箇所）			２箇所	２箇所				２箇所			
						HS 1													
						AN 1													
		低温側補助注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	80箇所	RH 75	ＶＴ－３	7.5%（６箇所）			２箇所			２箇所		２箇所			
						HS 4													
						AN 1													
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	7.5%	60箇所	RH 56	ＶＴ－３	7.5%（５箇所）			２箇所			１箇所		１箇所			
						HS 3										１箇所			
						AN 1													
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	7.5%	30箇所	RH 26	ＶＴ－３	7.5%（３箇所）			１箇所			１箇所		１箇所			
						AN 4													
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	7.5%	43箇所	RH 37	ＶＴ－３	7.5%（４箇所）			１箇所	２箇所							
						HS 4										１箇所			
						AN 2													

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）														備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
									第25保全サイクル									第26保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																	
		格納容器サンプ戻りライン	ＶＴ－３	7.5%	17箇所	RH 10	ＶＴ－３	7.5%（２箇所）				１箇所				１箇所			
						HS 2													
						AN 2													
						MS 3													
		燃料取替用水タンク出口ライン	ＶＴ－３	7.5%	11箇所	RH 11	ＶＴ－３	7.5%（１箇所）			１箇所								

３．余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表１台の7.5%	３箇所／台 ×２台	ＰＴ	代表１台の7.5%（１箇所）				１箇所							
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表１台の7.5%	１箇所／台 ×２台	ＶＴ－３	代表１台の7.5%（１箇所）				１箇所							

４．弁

維持規格 JSME S NA1－2012／2013／2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
								第25保全サイクル									第26保全サイクル	
F1.43	F-A	支持構造物																
		余熱除去クーラ出口ライン（１）	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			１箇所								ＧＭ５４ＦＥ
		余熱除去クーラ出口ライン（２）	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	２箇所／個×２個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）				１箇所							ＢＡ５４Ｄ
		余熱除去クーラ出口ライン（３）	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×２個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）				１箇所							ＧＭ５４
		余熱除去クーラバイパスライン	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	２箇所／個×２個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）				１箇所							ＢＡ５４Ｒ
		Ａ高温側補助注入ライン	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	２箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）						１箇所					ＧＭ５８
		低温側補助注入ライン	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			１箇所								ＧＭ５８
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×２個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）						１箇所					ＭＯＷＧ
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン（１）	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			１箇所								ＧＭ５８ＦＮ
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン（２）	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×２個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）						１箇所					ＭＯＷＧ
		Ｃ／Ｖサンプ戻りライン	ＶＴ－３	代表１個の7.5%	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）								１箇所			ＧＭ５４ＦＥ

５．クラス２機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
						第25保全サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉冷却系統														
		ＣＨ／ＳＩ－Ｐ、ＲＨＲＨｘ逃がし弁出口ライン (PEN#259～3V-8079)	水張状態	水張状態	ＶＴ－２								○			
		化学体積制御系統														
		抽出ライン　Ｎｏ．１ (3LCV-459～3AOV-8149A･B･C)	15.41	15.41	ＶＴ－２						○					
		抽出ライン　Ｎｏ．２ (3AOV-8149A･B･C～3PCV-145、3V-8409)	2.0	2.0							○					
		抽出ライン　Ｎｏ．３ (3PCV-145、3V-8409～3TCV-143)	0.28	0.28							○					
		体積制御タンク入口ライン (3TCV-143～3LCV-115A)	0.2	0.2							○					
		体積制御タンクまわり (3LCV-115A～体積制御タンク～3LCV-115B)	0.103	0.103							○					
		体積制御タンク出口ライン (3LCV-115B～3V-8471A･B･C)	0.23	0.23							○					
		Ａ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471A～3V-8485A、3MOV-8109A)	0.23	0.23							○					
		Ｂ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471B～3V-8485B、3MOV-8109B)	0.23	0.23							○					
		Ｃ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471C～3V-8485C、3MOV-8109C)	0.23	0.23							○					
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン (3V-8485A･B･C～3FCV-122、3V-8403、3HCV-186、3V-8389、3MOV-8814、3MOV-8815、3MOV-8803A･B、3MOV-8816、3V-8911)	17.5	17.5							○					
		充てんライン (3FCV-122、3V-8403、3V-8173～3V-8378A、3AOV-8145)	15.41	15.41										○		
		封水注入ライン (3HCV-186、3V-8389～3V-8368A･B･C)	15.41	15.41							○					

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度 第25保全サイクル	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統														
		封水戻りライン (3MOV-8112、3V-8111～3MOV-8100)	0.17	0.17	ＶＴ－２									○		
		Ａほう酸タンクまわり (ほう酸タンク～3V-8461A、3HCV-110、3V-8457A、3V-8375A、3V-8456A)	水張状態	水張状態				○								
		Ｂほう酸タンクまわり (ほう酸タンク～3V-8461B、3HCV-105、3V-8457B、3V-8456B、3V-8375B)	水張状態	水張状態				○								
		ほう酸ポンプ入口ライン (3V-8461A・B～3V-8372、3V-8459A・B・C・D、3V-8460A・B・C、3V-6171)	水張状態	水張状態				○								
		ほう酸ポンプ出口ライン (3V-8459A・B・C・D、3V-8460A・B・C～3HCV-110、3HCV-105、3AOV-8883、3V-8442、3V-8439、3FCV-113B、3V-8429、3FCV-114A、3V-8432、3V-8457A・B)	0.19	0.19				○								
		安全注入系統														
		Ａアキュムレータまわり (アキュムレータ～3AOV-8875A、3V-8855A、3MOV-8808A、3V-8955A、3V-8960A、3V-8934A)	4.55	4.55	ＶＴ－２									○		※一部気圧試験により検査
		Ｂアキュムレータまわり (アキュムレータ～3AOV-8875B、3V-8855B、3MOV-8808B、3V-8955B、3V-8960B、3V-8934B)	4.55	4.55										○		※一部気圧試験により検査
		Ｃアキュムレータまわり (アキュムレータ～3AOV-8875C、3V-8855C、3MOV-8808C、3V-8955C、3V-8960C、3V-8934C)	4.55	4.55										○		※一部気圧試験により検査
		Ａアキュムレータ出口ライン (3MOV-8808A～3V-8956A、3AOV-8877A)	4.55	4.55										○		
		Ｂアキュムレータ出口ライン (3MOV-8808B～3V-8956B、3AOV-8877B)	4.55	4.55										○		
		Ｃアキュムレータ出口ライン (3MOV-8808C～3V-8956C、3AOV-8877C)	4.55	4.55										○		

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
						第25保全サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統														
		燃料取替用水タンクまわり (燃料取替用水タンク～3V-6415A・B、3V-6451、3V-6470A・B、3V-5400、3V-5412、3V-6413、3V-5410、3V-8869、3V-5413、3V-8932、3V-8434、3V-8918、3V-5414A、3V-5415A、3V-5471、3V-5472、3V-5473、3MOV-6400A・B、3LCV-115D・E、3MOV-8809A･B)	水張状態	水張状態	ＶＴ－２			○								
		ほう酸注入タンクまわり (3MOV-8803A･B～3MOV-8801A･B、3V-8852、3V-8904、3V-8915、3V-8912)	11.83	11.83									○			
		高圧注入ライン（ループ低温側） (3MOV-8801A･B､3V-8911～3V-8944A･B･C、3V-9148D、3V-9149P)	15.41	15.41											○	
		高圧補助注入ライン（ループ高温側その１） (3MOV-8814～3V-8939A･B･C)	15.41	15.41											○	
		高圧補助注入ライン（ループ低温側） (3MOV-8815～3V-8942A･B･C)	15.41	15.41											○	
		高圧補助注入ライン（ループ高温側その２） (3MOV-8816～3V-8937A･B･C)	15.41	15.41											○	
		低圧補助注入ライン (3MOV-8819～3V-8935A･B)	15.41	15.41											○	
		アキュムレータ窒素供給ライン (3AOV-8880～3V-8947)	4.55	4.55										○		
		アキュムレータ水張りライン (3V-8968～3V-8989)	7.8	7.8										○		
		アキュムレータテストライン (3AOV-8871～3AOV-8961)	4.12	4.12										○		
		原子炉キャビティ入口ライン (3V-5420～PEN#301)	0.85	0.85									○			

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
						第25保全サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統														
		原子炉キャビティライン (PEN#265～3V-5441)	0.11	0.11	ＶＴ－２								○			
		余熱除去系統														
		Ａ余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701A～3FCV-602A、3MOV-8811A、3V-8708A、3MOV-8809A、3V-8728A)	2.75	2.75	ＶＴ－２									○		
		Ｂ余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701B～3FCV-602B、3MOV-8811B、3V-8708B、3MOV-8809B、3V-8728B)	2.75	2.75										○		
		Ａ余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728A～3V-8973A・B、3V-8972B、3MOV-8819、3MOV-8817B、3FCV-602A、3MOV-8706A、3MOV-761、3V-8717A、3V-8720A)	3.44	3.44										○		
		Ｂ余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728B～3V-8973C、3V-8972B、3MOV-8817B、3FCV-602B、3MOV-8706B、3V-8717B、3V-8720B)	3.44	3.44										○		
		格納容器圧力低減系統														
		内部スプレポンプ入口ライン　Ａ系列 (3MOV-6400A、3MOV-6408A～3V-6403A・B)	水張状態	水張状態	ＶＴ－２			○								
		内部スプレポンプ入口ライン　Ｂ系列 (3MOV-6400B、3MOV-6408B～3V-6403C・D)	水張状態	水張状態				○								
		内部スプレポンプ出口ライン　Ａ系列 (3V-6403A・B～3V-6407A・B、3MOV-760、3V-2381、3V-6411A)	2.01	2.01				○								
		内部スプレポンプ出口ライン　Ｂ系列 (3V-6403C・D～3V-6407C・D、3V-6411B)	2.01	2.01				○								
		よう素除去薬品タンクまわり (よう素除去薬品タンク～3V-6416A・B)	34kPa	34kPa					○							※一部気圧試験により検査
		よう素除去薬品タンク出口ラインＡ系列（その１） (3V-6416A～3V-6460A)	34kPa	34kPa							○					

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
						第25保全サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器圧力低減系統														
		よう素除去薬品タンク出口ラインＡ系列（その２） (3V-6460A～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa	ＶＴ－２						○					
		よう素除去薬品タンク出口ラインＢ系列（その１） (3V-6416B～3V-6460B)	34kPa	34kPa							○					
		よう素除去薬品タンク出口ラインＢ系列（その２） (3V-6460B～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa							○					
		主給水系統														
		Ａ蒸気発生器主給水入口ライン （3FW-520A、3FW-562A、3FW-571A、3FW-569A～ A蒸気発生器）	6.4	6.4	ＶＴ－２									○		
		Ｂ蒸気発生器主給水入口ライン （3FW-520B、3FW-562B、3FW-571B、3FW-569B～ B蒸気発生器）	6.4	6.4										○		
		Ｃ蒸気発生器主給水入口ライン （3FW-520C、3FW-562C、3FW-571C、3FW-569C～ C蒸気発生器）	6.4	6.4										○		
		主蒸気系統														
		Ａ蒸気発生器主蒸気出口ライン （A蒸気発生器～3AS-011A、3MS-520A、3HCV-3016、3MS-537A、3MS-528A）	6.04	6.04	ＶＴ－２									○		
		Ｂ蒸気発生器主蒸気出口ライン （B蒸気発生器～3MS-520B、3HCV-3017、3MS-537B、3MS-528B）	6.04	6.04										○		
		Ｃ蒸気発生器主蒸気出口ライン （C蒸気発生器～3AS-011B、3MS-520C、3HCV-3018、3MS-537C、3MS-528C）	6.04	6.04										○		

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
						第25保全サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	１次系補給水系統														
		加圧器逃がしタンク１次系補給水供給ライン (3AOV-8028～3V-8046、3V-8012)	0.7	0.7	ＶＴ－２			○								
		格納容器内洗浄水供給ライン (3V-6146～3V-6147)	0.6	0.6				○								
		液体廃棄物処理系統														
		格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン (3LCV-1003～3AOV-9170)	0.6	0.6	ＶＴ－２			○								
		格納容器サンプポンプ出口ライン (3AOV-9352A～3AOV-9352B)	90kPa	90kPa				○								
		蒸気発生器ブローダウン系統														
		Ａ蒸気発生器ブローダウン試料採取ライン (PEN#284～3AOV-5502A)	6.03	6.03	ＶＴ－２										○	
		Ｂ蒸気発生器ブローダウン試料採取ライン (PEN#232～3AOV-5502B)	6.03	6.03											○	
		Ｃ蒸気発生器ブローダウン試料採取ライン (PEN#231～3AOV-5502C)	6.03	6.03											○	
		Ａ蒸気発生器ブローダウンライン (PEN#279～3AOV-5505A)	6.03	6.03											○	
		Ｂ蒸気発生器ブローダウンライン (PEN#233～3AOV-5505B)	6.03	6.03											○	
		Ｃ蒸気発生器ブローダウンライン (PEN#230～3AOV-5505C)	6.03	6.03											○	
		原子炉補機冷却系統														
		余剰抽出水クーラ出口ライン (PEN#384～3AOV-5138)	210kPa	210kPa	ＶＴ－２				○							
		余剰抽出水クーラ入口ライン (3AOV-5136～PEN#383)	0.8	0.8					○							
		冷却材ポンプ入口ライン (3MOV-5141B～3V-5142)	0.8	0.8					○							
		冷却材ポンプモータ出口ライン (3MOV-5298、3V-5311～3MOV-5155)	210kPa	210kPa					○							

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力［MPa］	検査圧力［MPa］	検査方法	美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年） 2012年度 第25保全サイクル	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	備考
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却系統														
		冷却材ポンプ出口ライン (3MOV-5299、3V-5312～3FCV-1241)	210kPa	210kPa	ＶＴ－２				○							
		格納容器循環空調装置入口ライン (3MOV-5160A～3V-5161)	0.8	0.8					○							
		格納容器循環空調装置出口ライン (PEN#257～3MOV-5160B)	210kPa	210kPa					○							
		１次系試料採取系統														
		加圧器気相部サンプルライン (3AOV-5000～3AOV-5001)	15.41	15.41	ＶＴ－２						○					
		加圧器液相部サンプルライン (3AOV-5002～3AOV-5003)	15.41	15.41							○					
		１次系試料採取系統														
		１次冷却材Ａ、Ｂループ高温側サンプルライン (3AOV-5004A、3MOV-5004B～3AOV-5005)	15.41	15.41	ＶＴ－２						○					
		アキュムレータサンプルライン (3AOV-5018A･B･C～3AOV-5019)	4.18	4.18							○					
		計器用空気系統														
		制御用空気Ａヘッダライン (3MOV-6202～3V-6204A)	0.65	0.65	ＶＴ－２			○								
		制御用空気Ｂヘッダライン (3MOV-6203～3V-6204B)	0.65	0.65				○								
		雑用空気系統														
		雑用空気供給ライン (3V-7261～3V-7262)	0.7	0.7	ＶＴ－２			○								
		消火水系統														
		消火水ライン (3MOV-6931～3V-6932)	0.76	0.76	ＶＴ－２			○								

クラス３機器供用期間中検査１０年計画

1．余熱除去クーラ（胴側）

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014※1					美浜発電所第３号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基×2基	VT-1	7.5% 1箇所		1箇所							－		
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所		1箇所							－		

2．内部スプレクーラ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基×2基	VT-1	7.5% 1箇所						1箇所			－		
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所						1箇所			－		

3．1次系冷却水クーラ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	3箇所／基×3基	VT-1	7.5% 1箇所						1箇所			－		
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	3箇所／基×3基	VT-3	7.5% 1箇所						1箇所			－		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。
・維持規格2008年版：2014年～2019年5月（本サイクル開始～亀裂解釈NRA文書改正まで）

4．D／G清水冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	―	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基×2基	VT-1	7.5% 1箇所								1箇所	―		
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	―		

5．D／G潤滑油冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	―	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基×2基	VT-1	7.5% 1箇所								1箇所	―		
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	―		

6. D／G渦巻ストレーナ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	―	第27保全サイクル	
D1.10	D-A	胴とサポート用ブラケットとの溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基×2基	VT-1	7.5% 1箇所								1箇所	―		
F1.44	F-A	サポート用ブラケット	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	―		
F1.44	F-A	サポート	VT-3	7.5%	2箇所／基×2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	―		

7. 海水ストレーナ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
									第25保全サイクル							第26保全サイクル	―	第27保全サイクル	
F1.44	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	4箇所	AN 4	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	―		

8．配管

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
D1.20	D-A	配管支持部材取付溶接継手																
		原子炉補機冷却水系統	VT-1	7.5%	41箇所	VT-1	7.5% 4箇所		1箇所				1箇所		1箇所	－	1箇所	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-1	7.5%	40箇所	VT-1	7.5% 3箇所		1箇所				1箇所		1箇所	－		
F1.31	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	265箇所 RH 230	VT-3	7.5% 20箇所		3箇所				5箇所		8箇所	－	1箇所	
					AN 35				1箇所				1箇所			－	1箇所	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	189箇所 RH 155	VT-3	7.5% 15箇所		2箇所				5箇所		4箇所	－	1箇所	
					AN 34				1箇所							－	2箇所	

9．1次系冷却水ポンプ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	7.5%	2箇所／基×4基	VT-3	7.5% 1箇所						1箇所			－		

10. 弁

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
									第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
F1.31	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	4箇所	AN 4	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	－		
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	2箇所	RH 2		7.5% 1箇所								1箇所	－		

11．クラス3機器漏えい検査

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2014年度 第25保全サイクル	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	燃料ピット冷却浄化系統															
		燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	水張状態	水張状態	VT-2						○			－		
		燃料ピットポンプ出口ライン		0.500	0.500							○			－		
		原子炉補機冷却水系統															
		A，B1次系冷却水ポンプ入口ライン（Aヘッダ戻り）	VT-2	210kPa	210kPa	VT-2		○							－		
		C，D1次系冷却水ポンプ入口ライン（Bヘッダ戻り）		210kPa	210kPa			○							－		
		A，B1次系冷却水ポンプ出口ライン（Aヘッダ供給）		0.8	0.8									○	－		
		C，D1次系冷却水ポンプ出口ライン（Bヘッダ供給）		0.8	0.8									○	－		
		1次系海水系統															
		A，B海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.240	0.240	VT-2								○	－		
		C，D海水ポンプ出口ライン		0.240	0.240			○							－		
		計器用空気系統															
		A，B計器用空気供給ライン	VT-2	0.64	0.64	VT-2						○			－		

クラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査７年計画

原子炉容器

項目	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜3号機7カ年計画										備考
					設備数	検査方法	検査範囲	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
								第25保全サイクル	第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	－	第28保全サイクル	第29保全サイクル	
－	－	600系Ni基合金製の底部													
		底部管台	BMV	100% (3.5年)	50箇所	BMV	50箇所		50	－		－	50		

BMV：ベアメタル検査

クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査７年計画

項目	カテゴリ	試験検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）										備　考
					設備数	検査方法	検査範囲	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
								第24保全サイクル	—	第25保全サイクル	第26保全サイクル	—	第27保全サイクル	—	
——	——	配管の円周方向溶接部													
		抽出ライン	体積	25%	30箇所	UT	8	4	—		4	—		—	
		充てんライン	体積	25%	67箇所	UT	17	12	—		5	—		—	
		再生クーラ連絡管													
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—		2	—		—	
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—		2	—		—	

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

1.原子炉格納容器

維持規格　JSME S NA1－20012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第25保全サイクル							第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締付け部	VT-4	25%	56	VT-4	25% 14								14	－		

重大事故等クラス２機器供用期間中検査１０年計画

１．内部スプレクーラ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C1.20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体　積	１つの容器の7.5%	1箇所/基×2基	ＵＴ	代表1基の7.5%			－		－				－	7.5%	
C2.21	C-B	出入口管台と管側鏡板との溶接継手	体　積及び表面	１つの容器の7.5%	2箇所/基×2基	ＵＴ・ＰＴ	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－				－	1箇所	
C2.22		呼び径300Aを超える管台内面の丸みの部分	体　積	１つの容器の7.5%	2箇所/基×2基	ＵＴ	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－				－	1箇所	

２．１次系冷却水クーラ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C1.10	C-A	胴の周溶接継手	体　積	１つの容器の7.5%	4箇所/基×3基	ＵＴ	１つの容器の7.5%		7.5%	－		－	7.5%	7.5%	7.5%	－		
C1.30		胴と管板との溶接継手	体　積	１つの容器の7.5%	2箇所/基×3基	ＵＴ	１つの容器の7.5%			－		－		7.5%	7.5%	－		
C2.21	C-B	出入口管台と胴との溶接継手	体　積及び表面	１つの容器の7.5%	2箇所/基×3基	ＵＴ・ＰＴ	１つの容器の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		
C2.22		呼び径300Aを超える管台内面の丸みの部分	体　積	１つの容器の7.5%	2箇所/基×3基	ＵＴ	１つの容器の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	１つの容器の7.5%	3箇所/基×3基	ＰＴ	１つの容器の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		
F1.43	F-A	支持脚	ＶＴ－３	１つの容器の7.5%	3箇所/基×3基	ＶＴ－３	１つの容器の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		

3．配管（1／4）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手								－		－				－		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7．5％	3箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		内部スプレポンプ入口ライン	表面	7．5％	11箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		内部スプレポンプ出口ライン	表面	7．5％	5箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		内部スプレクーラ入口ライン	表面	7．5％	4箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		内部スプレクーラ出口ライン	表面	7．5％	7箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		ＲＨＲＳ－ＣＳＳ連絡ライン	表面	7．5％	3箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－	1箇所			－		
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	表面	7．5％	4箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	表面	7．5％	3箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7．5％	3箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7．5％	18箇所	PT	7．5％（2箇所）			－		－		1箇所		－	1箇所	
		1次系冷却水Cヘッダ戻りライン	表面	7．5％	3箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		
		1次系冷却水ポンプ入口ライン	表面	7．5％	4箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		
		1次系冷却水ポンプ出口ライン	表面	7．5％	8箇所	PT	7．5％（1箇所）			－		－		1箇所		－		

３．配管（２／４）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C5.11	C-F	配管の周溶接継手（呼び径100A超、肉厚9.5mm超）								－		－				－		
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積又は表面	７．５％	７箇所	ＰＴ	７．５％(1箇所)			－		－	1箇所			－		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	体積又は表面	７．５％	１５箇所	ＰＴ	７．５％(2箇所)			－		－	1箇所		1箇所	－		
		内部スプレポンプ入口ライン	体積又は表面	７．５％	８箇所	ＰＴ	７．５％(1箇所)			－		－	1箇所			－		
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	体積及び表面	７．５％	２５箇所	ＵＴ・ＰＴ	７．５％(2箇所)			－		－	1箇所		1箇所	－		
		主蒸気大気放出ライン	体積又は表面	７．５％	６箇所	ＰＴ	７．５％(1箇所)			－		－	1箇所			－		
F1.21	F-A	支持構造物								－		－				－		
		燃料取替用水タンク出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	2箇所	RH 2	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)		－		－		1箇所		－		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	8箇所	MS 2	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)		－		－				－		
						HS 1				－		－				－		
						RH 4				－		－		1箇所		－		
						AN 1				－		－				－		
		内部スプレポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	31箇所	MS 7	ＶＴ－３	７．５％(3箇所)		－		－				－		
						HS 13				－		－		1箇所	1箇所	－		
						RH 9			1箇所	－		－				－		
						AN 2				－		－				－		

３．配管（３／４）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）															備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度		
									第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ		
F1.21	F-A	支持構造物									－		－				－			
		内部スプレポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	26箇所	MS 5	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－		－				－			
						HS 12					－		－		1箇所	1箇所	－			
						SH 5					－		－				－			
						RH 4					－		－				－			
		内部スプレクーラ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	15箇所	MS 5	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－		－		1箇所		－			
						HS 4					－		－				－			
						SH 6					－		－			1箇所	－			
		内部スプレクーラ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	9箇所	SH 2	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)			－		－				－			
						RH 5					－		－		1箇所		－			
						AN 2					－		－				－			
		ＲＨＲＳ－ＣＳＳ連絡ライン	ＶＴ－３	７．５％	16箇所	MS 1	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－		－				－			
						RH 12					－		－	1箇所		1箇所	－			
						AN 3					－		－				－			
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	ＶＴ－３	７．５％	12箇所	MS 5	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)			－		－				－			
						RH 7					－		－	1箇所			－			
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	42箇所	RH 40	ＶＴ－３	７．５％(4箇所)		1箇所	－		－	1箇所		1箇所	－	1箇所		
						AN 2					－		－				－			
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	15箇所	MS 3	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－		－				－	1箇所		
						RH 10					－		－	1箇所			－			
						AN 2					－		－				－			

３．配管（４／４）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）														備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
									第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
F1.21	F-A	支持構造物									－		－				－		
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	132箇所	RH 128	ＶＴ－３	７．５％(10箇所)		2箇所	－	2箇所	－	2箇所		1箇所	－	2箇所	
						AN 4					－		－			1箇所	－		
		１次系冷却水Ｃヘッダ戻りライン	ＶＴ－３	７．５％	23箇所	RH 20	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－	1箇所	－				－	1箇所	
						AN 3					－		－				－		
		１次系冷却水ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	23箇所	RH 19	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－	1箇所	－				－	1箇所	
						AN 4					－		－				－		
		１次系冷却水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	25箇所	RH 17	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－	1箇所	－				－		
						AN 8					－		－				－	1箇所	
		１次系冷却水クーラ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	17箇所	RH 17	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－	1箇所	－				－	1箇所	
		格納容器循環冷暖房ユニット入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	12箇所	RH 12	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)			－		－				－	1箇所	
		格納容器循環冷暖房ユニット出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	8箇所	RH 8	ＶＴ－３	７．５％(1箇所)			－		－				－	1箇所	
		格納容器循環空調装置出口海水排水ライン	ＶＴ－３	７．５％	15箇所	RH 15	ＶＴ－３	７．５％(2箇所)			－	1箇所	－				－	1箇所	
		アニュラス循環排気ライン	ＶＴ－３	７．５％	44箇所	RH 44	ＶＴ－３	７．５％(4箇所)		1箇所	－		－	1箇所		1箇所	－	1箇所	

４．内部スプレポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%(1箇所)	3箇所／台×4台	ＰＴ	代表1台の7.5%(1箇所)			－		－				－	1箇所	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表1台の7.5%(1箇所)	1箇所／台×4台	ＶＴ－３	代表1台の7.5%(1箇所)			－		－				－	1箇所	

５．１次系冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表1基の7.5%(1箇所)	2箇所／台×4台	ＶＴ－３	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		

６．恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%(1箇所)	6箇所×1台	ＰＴ	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表1基の7.5%	2箇所×1台	ＶＴ－３	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		

７．原子炉下部キャビティ注水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%(1箇所)	6箇所×1台	ＰＴ	代表1台の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表1基の7.5%	2箇所×1台	ＶＴ－３	代表1基の7.5%(1箇所)			－		－			1箇所	－		

8．弁

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
								第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
F1.43	F-A	支持構造物								－		－				－		
		内部スプレクーラ出口ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	１箇所／個×１個 ２箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－		1箇所		－		GM54FC
		燃料取替用水タンク出口ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	１箇所／個×１個 ２箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－		1箇所		－		GM54FA
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－		1箇所		－		GM54FD
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	２箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－		1箇所		－		GM54FD
		主蒸気大気放出ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	２箇所／個×３個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－	1箇所			－		RA36R
		ＲＨＲＳ－ＣＳＳ連絡ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－	1箇所			－		GM54FE
		格納容器循環冷暖房ユニット入口ライン	ＶＴ－３	代表１個の７．５％	１箇所／個×１個	ＶＴ－３	代表１個の７．５％（１箇所）			－		－	1箇所			－		GM32S

９．漏えい検査（１／６）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
						第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統						－		－				－		
		体積制御タンク出口ライン	1.4	0.23	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		Ａ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		Ｂ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		Ｃ充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	18.8	17.5	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		充てんライン	18.8	15.41	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		充てん流量制御弁第２バイパスライン	18.8	17.5	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てんポンプ／高圧注入ポンプ出口側）（その１）	18.8	17.5	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てんポンプ／高圧注入ポンプ出口側）（その２）	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てんポンプ／高圧注入ポンプ入口側）（その１）	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てんポンプ／高圧注入ポンプ入口側）（その２）	1.4	1.4	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		Ａほう酸タンクまわり	0	水張状態	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		Ｂほう酸タンクまわり	0	水張状態	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		ほう酸ポンプ入口ライン	0.98	水張状態	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		ほう酸ポンプ出口ライン	0.98	0.19	ＶＴ－２			－		－	○			－		

9．漏えい検査（2／6）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2016～2020年度 第25保全ｻｲｸﾙ	2021年度 第26保全ｻｲｸﾙ	2022年度 －	2023年度 第27保全ｻｲｸﾙ	2024年度 －	2025年度 第28保全ｻｲｸﾙ	2026年度 第29保全ｻｲｸﾙ	2027年度 第30保全ｻｲｸﾙ	2028年度 －	2029年度 第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統						－		－				－		
		ほう酸注入タンクまわり	18.8	11.83	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		アキュムレータ注入ライン	4.9	4.55	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		高圧注入ライン（ループ低温側）	17.16	15.41	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		燃料取替用水タンクまわり	0	水張状態	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		恒設代替低圧注水ポンプ及び原子炉下部キャビティ注水ポンプ入口ライン	0	水張状態	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	2.7	2.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	2.7	2.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	2.7	2.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		余熱除去系統						－		－				－		
		Ａ余熱除去ポンプ入口ライン	4.1	2.75	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		Ｂ余熱除去ポンプ入口ライン	4.1	2.75	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		Ａ余熱除去ポンプ出口ライン	4.1	3.44	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		Ｂ余熱除去ポンプ出口ライン	4.1	3.44	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		ＲＨＲＳ－ＣＳＳ連絡ライン	4.1	4.1	ＶＴ－２			－		－		○		－		

９．漏えい検査（３／６）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	2016～2020年度 第25保全ｻｲｸﾙ	2021年度 第26保全ｻｲｸﾙ	2022年度 －	2023年度 第27保全ｻｲｸﾙ	2024年度 －	2025年度 第28保全ｻｲｸﾙ	2026年度 第29保全ｻｲｸﾙ	2027年度 第30保全ｻｲｸﾙ	2028年度 －	2029年度 第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器圧力低減系統						－		－				－		
		内部スプレポンプ入口ライン	2.1	水張状態	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		内部スプレポンプ出口ライン	2.7	2.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		原子炉補機冷却水系統						－		－				－		
		１次系冷却水ポンプ入口ライン	0.98	210kPa	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		１次系冷却水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		１次系冷却水ポンプＣヘッダ供給ライン	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		１次系冷却水ポンプＣヘッダ戻りライン	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		１次系冷却水タンク窒素加圧ライン	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		格納容器循環空調装置出口海水排水ライン	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		充てん／高圧注入ポンプ出口海水排水ライン	0	0	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		余熱除去ポンプ出口海水排水ライン	0.7	0.7	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		１次系冷却水系統への海水供給ライン	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ接続ライン	0.33	0.33	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器まわり	0.33	0.33	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器出口海水排水ライン	0	0	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		大容量ポンプ海水注入ライン（１次系冷却水系統へ）	1.2	1.2	ＶＴ－２			－		－		○		－		

9．漏えい検査（4／6）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2016～2020年度 第25保全ｻｲｸﾙ	2021年度 第26保全ｻｲｸﾙ	2022年度 －	2023年度 第27保全ｻｲｸﾙ	2024年度 －	2025年度 第28保全ｻｲｸﾙ	2026年度 第29保全ｻｲｸﾙ	2027年度 第30保全ｻｲｸﾙ	2028年度 －	2029年度 第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	海水系統						－		－				－		
		A、B海水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	VT－2			－		－		○		－		
		C、D海水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	VT－2			－		－		○		－		
		大容量ポンプ海水注入ライン	1.2	1.2	VT－2			－		－		○		－		
		主蒸気系統						－		－				－		
		A蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		B蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		C蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		主給水系統						－		－				－		
		A蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		B蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		C蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT－2			－		－	○			－		
		補助給水系統						－		－				－		
		復水タンク出口ライン	0	水張状態	VT－2			－		－				－	○	
		A電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7	VT－2			－		－				－	○	
		B電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7	VT－2			－		－				－	○	
		タービン動補助給水ポンプ入口ライン	1.6	1.6	VT－2			－		－				－	○	
		タービン動補助給水ポンプ出口ライン	13.2	13.2	VT－2			－		－				－	○	

９．漏えい検査（５／６）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
						第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統						－		－				－		
		補助給水ポンプ出口蒸気発生器給水ライン	8.6	8.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		復水タンク海水供給ライン	1.6	1.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御用空気系統						－		－				－		
		制御用空気Ａヘッダライン	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		制御用空気Ｂヘッダライン	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		アニュラス空気浄化系統ダンパ作動用窒素供給ライン	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		換気空調系統						－		－				－		
		Ａアニュラス循環ファンまわり	0.00245	0.00245	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		Ｂアニュラス循環ファンまわり	0.00245	0.00245	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御建屋循環ファン入口ライン	-0.00147	-0.00147	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御建屋循環ファン出口ライン	0.00049	0.00049	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御建屋冷暖房ユニットまわり	-0.00049	-0.00049	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御建屋送気ファン入口ライン	-0.00147	-0.00147	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		制御建屋送気ファン出口ライン	0.00147	0.00147	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		中央制御室非常用循環ファン入口ライン	-0.00049	-0.00049	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		中央制御室非常用循環ファン出口ライン	0.00147	0.00147	ＶＴ－２			－		－				－	○	

９．漏えい検査（６／６）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力（工認記載値）(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
						第25保全ｻｲｸﾙ	第26保全ｻｲｸﾙ	－	第27保全ｻｲｸﾙ	－	第28保全ｻｲｸﾙ	第29保全ｻｲｸﾙ	第30保全ｻｲｸﾙ	－	第31保全ｻｲｸﾙ	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	換気空調系統						－		－				－		
		緊急時対策所非常用空気浄化ファン出口ライン	0.0038	0.0038	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		緊急時対策所空気供給装置接続ライン	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		非常用電源系統						－		－				－		
		Ａ非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		Ｂ非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ	0.98	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（クラス１機器供用期間中検査範囲）

１．原子炉容器（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体　積	１００％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体　積	１００％		
B1.102		中間胴の長手溶接継手	体　積	１００％		
		下部胴の長手溶接継手	体　積	１００％		
B2.111	B-B	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体　積	１００％		
B2.121		下部鏡板の周溶接継手	体　積	１００％		
B2.122		下部鏡板の長手溶接継手	体　積	１００％		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体　積	１００％		
B3.106		上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体　積	１００％		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体　積	１００％		
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体　積	１００％		
B3.20		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体　積	１００％		
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体　積	１００％		

１．原子炉容器（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	１００％		
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	１００％		
B6.10	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１００％		
B6.30		スタッドボルト	体積	１００％		
B6.40		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	１００％		
B6.50		上蓋用ワッシャ	ＶＴ－１	１００％		
B7.10	B-G-2	Ｔ／Ｃハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	ＶＴ－１	２５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の２５％		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	２５％		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	ＶＴ－３	７．５％		
G1.40		内部取付け物	ＶＴ－３	７．５％		
G1.40		構造物・取付け物	ＶＴ－３	７．５％		
G1.50	G-P-2	炉心支持構造物	ＶＴ－３	７．５％		

２．加圧器（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体　積	５％		
		下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体　積	５％		
B2.12		上部胴の長手溶接継手	体　積	１０％		
		下部胴の長手溶接継手	体　積	１０％		
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体　積	５％		
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手				
		安全弁用管台と容器との溶接継手	体　積	管台数の２５％		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手				
		スプレ用管台と容器との溶接継手				
		サージ用管台と容器との溶接継手				
B3.40		管台内面の丸みの部分				
		安全弁用管台内面の丸みの部分	体　積	管台数の２５％		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分				
		スプレ用管台内面の丸みの部分				
		サージ用管台内面の丸みの部分				
B5.40	B-F	管台とセーフエンドとの溶接継手（呼び径100A以上）				
		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体　積及び表面	管台数の２５％		
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手				
		スプレ用管台とセーフエンドとの溶接継手				
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手				

２．加圧器（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	ＶＴ－１	２５％		
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手（支持スカートの溶接継手）	表　面	７．５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	２５％		

３．蒸気発生器（１／１）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体　積	代表１基の２５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体　積	代表１基の２５％		
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体　積及び表面	代表１基の２５％		
B7.30	B-G-2	１次側マンホールの取付ボルト	ＶＴ－１	代表１基の２５％		
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手（水室鏡とサポートパッドとの溶接継手）	表　面	代表１基の７.５％		
B15.30	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	代表１基の２５％		

４．配管（１／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B9.11	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A以上）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		主冷却材管	体　積	２５％		
		加圧器サージライン	体　積	２５％		
		アキュムレータ注入ライン	体　積	２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体　積	２５％		
		加圧器安全弁ライン	体　積	２５％		
		低温側低圧注入ライン	体　積	２５％		
		加圧器逃がしライン	体　積	２５％		
B9.21		配管の周溶接継手（呼び径100A未満）				
		加圧器逃がしライン	表　面	２５％		
		充てんライン	表　面	２５％		
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	２５％		

４．配管（２／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100A以上）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		主冷却材管	体　積	２５％		
B9.32		母管と管台との溶接継手（呼び径100A未満）				
		主冷却材管	表　面	２５％		
		低温側低圧注入ライン	表　面	２５％		
B9.40		ソケット溶接継手				
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	２５％		
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手				
		加圧器サージライン	表　面	7.5％		
		加圧器逃がしライン	表　面	7.5％		
		充てんライン	表　面	7.5％		

４．配管（３／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表　面	７．５％		
		アキュムレータ注入ライン	表　面	７．５％		
		低温側低圧注入ライン	表　面	７．５％		
B15.50	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.10	F-A	支持構造物				
		加圧器サージライン	ＶＴ－３	２５％		

４．配管（４／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.10	F-A	支持構造物			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		充てんライン	ＶＴ－３	２５％		
		加圧器逃がしライン	ＶＴ－３	２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	２５％		

４．配管（５／５）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.10	F-A	支持構造物			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－３	２５％		
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	２５％		
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	２５％		

５．ポンプ（１／１）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体　積	代表1台の２５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B6.190		フランジ表面	ＶＴ－１	代表1台の２５％		
B6.200		ナット及びワッシャ	ＶＴ－１	代表1台の２５％		
B10.30	B-K	ポンプ支持部材取付溶接継手	表　面	代表1台の7.5％		
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの溶接継手	体　積 又　は 表　面	代表1台の２５％		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	ＶＴ－３	代表1台の１００％		
B15.60	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.41	F-A	支持構造物	ＶＴ－３	代表1台の２５％		

６．弁（１／２）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		加圧器逃がしライン（１）	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		加圧器逃がしライン（２）	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		充てんライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		

６．弁（２／２）

維持規格　ＪＳＭＥ　Ｓ　ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B12.30	B-M-1	弁箱の溶接継手（呼び径100A未満）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	代表１個の２５％		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面				
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		
		アキュムレータ注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		
		低温側低圧注入ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		
B15.70	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		
F1.41	F-A	支持構造物				
		加圧器安全弁ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％		
		加圧器逃がしライン（１）	ＶＴ－３	代表１個の２５％		
		加圧器逃がしライン（２）	ＶＴ－３	代表１個の２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％		

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（原子炉冷却材圧力バウンダリ定義変更に伴う特別検査）

７．配管

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B9.11	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A以上）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体　積	２５％		
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手				
		余熱除去ポンプ入口ライン	表　面	７．５％		
F1.10	F-A	支持構造物				
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	２５％		
B15.50	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		

８．弁

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（７カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－１	代表１個の２５％		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面				
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	同一ｸﾞﾙｰﾌﾟで１個		
F1.41	F-A	支持構造物				
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	代表１個の２５％		
B15.70	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	漏えい試験時１００％		

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（クラス２機器供用期間中検査範囲）

１．余熱除去クーラ

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C1.20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体　積	１つの容器の7.5%	クラス２機器供用期間中検査で管理	
C2.21	C-B	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体　積及び表面	7.5%		
		管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体　積及び表面	7.5%		

２．配管（１／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去クーラバイパスライン	表　面	７．５％		
		高温側ループ注入ライン	表　面	７．５％		
		低温側ループ注入ライン	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	表　面	７．５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	表　面	７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表　面	７．５％		
		余熱除去クーラ出口ライン	表　面	７．５％		
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	７．５％		
		格納容器サンプ戻りライン	表　面	７．５％		
		燃料取替用水タンク出口ライン	表　面	７．５％		

２．配管（２／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 （呼び径100A超、肉厚9.5mm超）			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		低温側ループ注入ライン	体積又は表面	７．５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	７．５％		
		格納容器サンプ戻りライン	体積又は表面	７．５％		
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積又は表面	７．５％		
C5.21	C-F	配管の周溶接継手 （呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超）				
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	表　面	７．５％		
C5.30		ソケット溶接継手				
		低温側ほう酸注入ライン	表　面	７．５％		

２．配管（３／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.21	F-A	支持構造物			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		余熱除去クーラ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％		

２．配管（４／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス２機器供用期間中検査で管理	
F1.21	F-A	支持構造物				
		余熱除去クーラバイパスライン	ＶＴ－３	７．５％		
		高温側ループ注入ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		低温側ループ注入ライン	ＶＴ－３	７．５％		

２．配管（５／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.21	F-A	支持構造物			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％		

２．配管（６／６）

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.21	F-A	支持構造物			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		格納容器サンプ戻りライン	ＶＴ－３	７．５％		
		燃料取替用水タンク出口ライン	ＶＴ－３	７．５％		

３．余熱除去ポンプ

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表　面	代表1台の７．５％	クラス２機器供用期間中検査で管理	
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	ＶＴ－３	代表1台の７．５％		

４．弁

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.43	F-A	支持構造物			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去クーラ出口ライン（１）	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		余熱除去クーラ出口ライン（２）	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		余熱除去クーラ出口ライン（３）	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		余熱除去クーラバイパスライン	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		低温側ほう酸注入ライン	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン（１）	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン（２）	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		
		Ｃ／Ｖサンプ戻りライン	ＶＴ－３	代表1個の７．５％		

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
－	－	配管の円周方向溶接部			クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査で管理	
		充てんライン	体積	２５％		
		再生クーラ連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	２５％		

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（クラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査範囲）

原子炉容器

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第３号機検査計画（7カ年）	備考
－	－	600系Ni基合金製の底部			クラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査で管理	
		底部管台	ＢＭＶ	１００％ (3.5年)		

ＢＭＶ：ベアメタル検査

重大事故等クラス２機器供用期間中検査７年計画表（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

１．原子炉格納容器

維持規格　ＪＳＭＥ Ｓ ＮＡ１－２０１２／２０１３／２０１４					美浜発電所第３号機検査計画（１０カ年）	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	原子炉格納容器供用期間中検査で管理	
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締付け部	ＶＴ－４	２５％		

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 (ＭＰａ) （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	電源車内燃機関	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		電源車（緊急時対策所用）内燃機関	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）内燃機関	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		冷却水ポンプ（電源車）	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		冷却水ポンプ（電源車（緊急時対策所用））	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		冷却水ポンプ（電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用））	－	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		燃料タンク（電源車）	大気圧	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		燃料タンク（電源車（緊急時対策所用））	大気圧	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		燃料タンク（電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用））	大気圧	ＶＴ－２			－		－	○			－		
		可搬式オイルポンプ	1.05	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		可搬式オイルポンプ入口ライン接続用10mホース	0.78	ＶＴ－２			－		－		○		－		
		可搬式オイルポンプ出口ライン接続用75m、10mホース	1.0	ＶＴ－２			－		－		○		－		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 (ＭＰａ) （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	増圧装置空気だめ	1.0	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用）	14.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用（A系））～ホース先端	17.16/0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用（B系））～ホース先端	17.16/0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		加圧器逃がし弁作動用制御用空気ライン窒素供給用13m（B系）、10m（A系）フレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）減圧装置行き3mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		減圧装置増圧装置空気だめ行き1.5mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		増圧装置空気だめ窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用）行き10m（A系）、5m（B系）フレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 (ＭＰａ) （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	送水車	1.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		大容量ポンプ（放水砲用）	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		大容量ポンプ（放水砲用）取水用20mホース	0.25	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		大容量ポンプ（放水砲用）送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		放水砲	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		送水車吸水用10mホース	0.2	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		送水車吸水用5mホース	0.2	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		送水車送水用10m、5mホース	1.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		送水車送水用50m、10m、6m、2mホース	1.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ	1.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬式低圧代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口	1.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	1.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		大容量ポンプ	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 (ＭＰａ) （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	大容量ポンプ取水用20mホース	0.25	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		大容量ポンプ送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		タンクローリー	0.024	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		タンクローリー給油ライン接続用10mホース（燃料油貯蔵タンク用）	0.78	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		タンクローリー給油ライン接続用30mホース	1	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		屋外燃料油取出ライン用短管接続口（上流側）～屋外燃料油取出ライン用短管接続口（下流側）	0.6	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		軽油用ドラム缶	大気圧	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		送水車燃料タンク	大気圧	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		大容量ポンプ燃料タンク	大気圧	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		大容量ポンプ（放水砲用）燃料タンク	大気圧	ＶＴ－２			－		－			○	－		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 (ＭＰａ) （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	0.33	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		窒素ボンベ（１次系冷却水タンク加圧用）	14.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		窒素ボンベ（１次系冷却水タンク加圧用）～１次系冷却水タンク加圧用窒素供給用マニホールド接続用座（上流側）	17.16/0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		１次系冷却水タンク窒素供給用3.5mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ吸水用10mフレキシブルホース	0.33	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ送水用10mフレキシブルホース	0.33	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却水屋外排水用50mフレキシブルホース	0	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		窒素ボンベ（アニュラス循環系ダンパ作動用）	14.7	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		窒素ボンベ（アニュラス循環系ダンパ作動用）～ホース先端	17.16/0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		アニュラスダンパ用制御用空気ライン窒素供給用6mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		可搬型格納容器ガス試料圧縮装置入口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		可搬型格納容器ガス試料圧縮装置出口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		可搬型格納容器内水素濃度計則装置入口側接続用8mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 （ＭＰａ） （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	可搬型格納容器内水素濃度計則装置出口側接続用8mフレキシブルホース	0.98	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		空気供給装置	19.6	ＶＴ－２		○ １カードル	○ ６カードル	○ ６カードル	－				－		
		仮設ダクト（緊急時対策所非常用空気浄化ファン～緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット）	0.0038	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		仮設ダクト（緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット～緊急時対策所接続口）	0.0038	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		マニホールド（空気供給装置用）	19.6/0.98	ＶＴ－２			－		－				－	○	
		ホース（空気供給装置用）	1	ＶＴ－２			－		－				－	○	

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．漏えい検査

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所　第３号機　検査計画（１０カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	ＳＡ時使用圧力 （ＭＰａ） （工認記載値）	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 －	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 －	2025年度 第28保全サイクル	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル	2028年度 －	2029年度 第31保全サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	送水車送水用20mホース	1.6	ＶＴ－２			－		－			○	－		
		スプレイヘッダ	1.6	ＶＴ－２			－		－			○	－		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
　具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により３サイト統一する計画である。

クラス１配管特別検査計画

維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014					美浜発電所 第３号機 検査計画※1								備　考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数※2	検査方法	検査範囲	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
								第26保全サイクル	－	第27保全サイクル	－	第28保全サイクル	
－	－	配管の耐圧部分の溶接継手											
		加圧器サージライン	体　積	100%	1	ＵＴ	1箇所/保全サイクル	1箇所	－	1箇所	－	1箇所	
		加圧器逃がしライン	体　積	100%	1	ＵＴ	1箇所/保全サイクル	1箇所	－	1箇所	－	1箇所	
		加圧器安全弁ライン	体　積	100%	3	ＵＴ	3箇所/保全サイクル	3箇所	－	3箇所	－	3箇所	
		加圧器スプレライン	体　積	100%	5	ＵＴ	5箇所/保全サイクル	5箇所	－	5箇所	－	5箇所	
		蓄圧注入ライン	体　積	100%	4	ＵＴ	4箇所/保全サイクル	4箇所	－	4箇所	－	4箇所	
		低温側ほう酸注入ライン	体　積	100%	2	ＵＴ	2箇所/保全サイクル	2箇所	－	2箇所	－	2箇所	
		高温側低圧注入ライン	体　積	100%	2	ＵＴ	2箇所/保全サイクル	2箇所	－	2箇所	－	2箇所	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体　積	100%	3	ＵＴ	3箇所/保全サイクル	3箇所	－	3箇所	－	3箇所	

※1：事業本部指示文書「大飯３号機　加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な欠陥指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」（原保計第58号）に従い、３定検に亘って検査を実施する。

※2：試験カテゴリB-J、項目番号B9.11の溶接継手のうち、「運転温度200℃以上」、「応力改善の実施の有無」、「全層TIG溶接の適用の有無」、「過大な溶接入熱の可能性の有無」及び「形状による影響」の条件により抽出される箇所

別図

定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程				▽解列	RCS降温	R/V開放	燃料取出	1次系弁・ポンプ他点検	燃料装荷	R/V組立	起動試験	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験	調整運転	△並列				
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
未臨界維持機能	第20条 停止余裕	モード3、4	・停止余裕：1.77%Δk/k以上	－	×	×										×		×	×	
		モード5	・停止余裕：1.0%Δk/k以上	－			×	×						×	×		×			
	第22条 減速材温度係数	モード3	・減速材温度係数：-81×10^{-5}Δk/k/℃以上	－	×														×	
	第55条 ほう酸注入タンク	モード3	・ほう酸注入タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・ほう酸注入タンクほう素濃度：20,000ppm以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水量（有効水量）：3.4m^3以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水温度：65℃以上	・ほう酸注入タンク	×														×	
	第81条 1次冷却材中のほう素濃度	モード6	・1次冷却材中のほう素濃度：2,600ppm以上	－					×	×		×	×							
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	第50条 1次冷却材中のよう素131濃度	モード3（1次冷却材温度が260℃以上）	・1次冷却材中のよう素131濃度：5.7×10^{4}Bq/cm^3以下	－	△														△	
	第56条 原子炉格納容器	モード3、4	・原子炉格納容器は、重大事故等対処」設備を兼ねる。 ・原子炉格納容器の機能が健全であること。 ・原子炉格納容器圧力：12kPa[gage]以下 ・原子炉格納容器エアロックが動作可能（原子炉格納容器エアロックのインターロック機構が健全であること、および原子炉格納容器エアロックが閉止可能（閉止状態であることを含む）であること。モード4の原子炉格納容器パージ後、直ちに閉止できることを条件に原子炉格納容器エアロックの両方のドアを開放する場合、運転上の制限を適用しない。） ・原子炉格納容器隔離弁が動作可能（閉止可能（閉止状態であることを含む）であること。）	・原子炉格納容器 ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁	×	△										×		×	×	
	第57条 原子炉格納容器真空逃がし系	モード3、4	・原子炉格納容器真空逃がし系4系統以上が動作可能（真空逃がし機能が確保されていること。）	・原子炉格納容器真空逃がし系	×	×										×		×	×	
	第58条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3、4	・原子炉格納容器スプレイ系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉格納容器スプレイ系が動作不能時は、第85条（表85－4および表85－6）の運転上の制限も確認する。 ・原子炉格納容器スプレイ系2系統が動作可能 ・よう素除去薬品タンク苛性ソーダ濃度：30wt%以上 ・よう素除去薬品タンク苛性ソーダ溶液量（有効水量）：11.2m^3以上	・原子炉格納容器スプレイ系 ・よう素除去薬品タンク	×	×										×		×	×	
	第60条 アニュラス循環系	モード3、4	・Bアニュラス循環系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・Bアニュラス循環系が動作不能時は、第85条（表85－11）の運転上の制限も確認する。 ・アニュラス循環系2系統が動作可能	・アニュラス循環系	×	×										×		×	×	
	第61条 アニュラス	モード3、4	・アニュラスの機能が健全であること。（アニュラス内点検、原子炉格納容器エアロック点検を行う場合、運転上の制限を適用しない。）	・アニュラス	△	△										△		△	△	
	第72条 安全補機室空気浄化系	モード3、4	・安全補機室空気浄化系2系統が動作可能	・安全補機室空気浄化系	×	×										×		×	×	
放射性物質放出の防止機能	第82条 原子炉キャビティ水位	モード6（キャビティ高水位）	・原子炉キャビティ水位：EL31.0m以上（原子炉格納容器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水抜きによりモード6（低水位）に移行する場合、運転上の制限を適用しない。）	・原子炉キャビティ						△		△								

定期事業者検査時の安全管理の計画



主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
放射性物質放出の防止機能	第83条 原子炉格納容器貫通部	モード5、6	・機器ハッチが全ボルトで閉じられていること。（原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合に開放することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。） ○1次冷却材ポンプ停止中で余熱除去系統による冷却時、加圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10 %から30 %の範囲内にある場合。 ○原子炉キャビティ水位がEL 31.0 m以上である場合。 ・各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能（閉止状態であることを含む。） ・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること（閉止状態であることを含む。）、隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられていること。（原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に開放することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。）	・原子炉格納容器機器ハッチ ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁 ・原子炉格納容器貫通部			△	△	△	△		△	△	△	△		△			
	第84条 使用済燃料ピットの水位および水温	全モード	・使用済燃料ピット水位：EL31.0m以上（照射済燃料の移動を行っていない場合は、運転上の制限を適用しない。）	・使用済燃料ピット	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
			・使用済燃料ピット水温：65℃以下	・使用済燃料ピット冷却系	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
原子炉停止後の除熱機能	第37条 1次冷却系	モード3	・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認する。 ・制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中 ・制御棒の引抜き操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中	・蒸気発生器 ・1次冷却材系統 ・1次冷却材ポンプ	×														×	
	第38条 1次冷却系	モード4	・余熱除去系（余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。）または蒸気発生器による熱除去系（蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認する。）のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中	・余熱除去系統 ・蒸気発生器 ・1次冷却材系統 ・1次冷却材ポンプ		×											×		×		
	第39条 1次冷却系	モード5－1 （1次冷却系満水）	・余熱除去系（余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。）1系統が運転中※ ・他の余熱除去系が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位（狭域）が計器スパンの5%以上であること※ ※：計画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位（狭域）が計器スパンの5%以上であることを条件に、全ての余熱除去系を隔離することを許容				×							×		×				

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程				▽解列	RCS降温		R/V開放	燃料取出	1次系弁・ポンプ他点検	燃料装荷	R/V組立	起動試験	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験	調整運転	△並列								
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3						
原子炉停止後の除熱機能	第40条 1次冷却系	モード5－2 （1次冷却系非満水）	・余熱除去系（余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。）2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中※ ※：1次冷却材ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は、2時間に限り全ての余熱除去系を隔離することを許容。ポンプの切替を行う場合は、a. b. c. の全てを満足させることを条件に、15分に限り、全ての余熱除去ポンプを停止することを許容。 a. 炉心出口温度が飽和温度より5.6℃以上下回るように維持されていること。 b. 1次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと。 c. 1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと。	・余熱除去系統 ・1次冷却材系統				×					×												
	第41条 1次冷却系	モード6－2 （キャビティ高水位）	・余熱除去系（余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。）1系統以上が運転中（1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に、8時間あたり1時間に限り、余熱除去ポンプを停止することを許容） ・1次冷却材温度：65℃以下	・余熱除去系統 ・1次冷却材系統						×			×												
	第42条 1次冷却系	モード6－1 （キャビティ低水位）	・余熱除去系（余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。）2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中（キャビティ水張りおよび水抜きを行っている場合は、余熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に1系統を隔離することを許容） ・1次冷却材温度：65℃以下	・余熱除去系統 ・1次冷却材系統						×				×											
	第62条 主蒸気安全弁	モード3（原子炉起動時のモード3から主蒸気安全弁機能検査完了までを除く）	・主蒸気安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に下記の個数以上が動作可能 原子炉熱出力80%超：7個 原子炉熱出力70%超で、かつ80%以下：6個 原子炉熱出力55%超で、かつ70%以下：5個 原子炉熱出力40%超で、かつ55%以下：4個 原子炉熱出力25%超で、かつ40%以下：3個 原子炉熱出力25%以下：2個	・主蒸気安全弁	×														△						
	第63条 主蒸気止弁	モード3	・主蒸気止弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気止弁が閉止可能（閉止状態にある場合は、運転上の制限を適用しない。）	・主蒸気隔離弁	△														△						
	第64条 主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁	モード3	・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能（閉止または手動弁で隔離された状態にある場合、運転上の制限を適用しない。）	・主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水バイパス制御弁	△														△						
	第65条 主蒸気逃がし弁	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・主蒸気逃がし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気逃がし弁が動作不能時は、第85条（表85－9）の運転上の制限も確認する。 ・主蒸気逃がし弁の手動での開弁ができること。	・主蒸気逃がし弁	×	△										△		△	×						
	第66条 補助給水系	モード3	・補助給水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・補助給水系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認する。 ・電動補助給水ポンプによる2系統およびタービン動補助給水ポンプによる1系統が動作可能（タービン動補助給水ポンプについては、原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行っている場合は、運転上の制限を適用しない。）	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ	×														△						
		モード4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・補助給水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・補助給水系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認する。 ・電動補助給水ポンプによる1系統以上が動作可能	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ		△										△		△							

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																					
				▽解列	RCS降温			燃料取出	燃料装荷		起動試験	起動前弁点検			調整運転						
						R/V開放		1次系弁・ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験	△並列						
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3		
原子炉停止後の除熱機能	第67条 復水タンク	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・復水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・復水タンク水量（有効水量）を確認する場合は、第85条（表85－14）の運転上の制限も確認する。 ・復水タンク水量（有効水量）：480m^{3}以上	・復水タンク	×	△										△		△	×		
炉心冷却機能	第51条 アキュムレータ	モード3（1次冷却材圧力が6.89MPa[gage]超） （原子炉起動時のモード3（1次冷却材圧力が6.89MPa[gage]を超えた時点）から、全ての出口電動弁が全開となるまでの間は除く）	・アキュムレータは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・アキュムレータが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・アキュムレータほう素濃度：2,600ppm以上 ・アキュムレータほう酸水量（有効水量）：29.0m^{3}以上 ・アキュムレータ圧力：4.04MPa[gage]以上 ・アキュムレータ出口電動弁が全開	・アキュムレータ ・アキュムレータ出口電動弁	△														△		
	第52条 非常用炉心冷却系	モード3	・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条（表85－3および表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低圧注入系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・高圧注入系の2系統が動作可能 ・低圧注入系の2系統が動作可能	・高圧注入系 ・低圧注入系	×														×		
	第53条 非常用炉心冷却系	モード4	・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条（表85－3および表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・充てん系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低圧注入系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認する。 ・高圧注入系または充てん系1系統以上が動作可能 ・低圧注入系1系統以上が動作可能（余熱除去ポンプを用いて余熱除去運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない。）	・高圧注入系 ・充てん系 ・低圧注入系		×												×		×		
	第54条 燃料取替用水タンク	モード3、4	・燃料取替用水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料取替用水タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条（表85－14）の運転上の制限も確認する。 ・燃料取替用水タンクほう素濃度：2,600ppm以上 ・燃料取替用水タンクほう酸水量（有効水量）：1,325m^{3}以上	・燃料取替用水タンク	×	×												×		×	×	
原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	第36条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	通常の1次冷却系の加熱・冷却時（原子炉起動、原子炉停止（異常時を除く）、1次冷却系の耐圧・漏えい検査および安全注入系逆止弁漏えい検査のための昇温、降温操作開始から終了まで）	・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 ・1次冷却材温度変化率（原子炉容器）：55℃/h以下※ ・1次冷却材温度変化率（加圧器）　加熱率：55℃/h以下※ ・1次冷却材温度変化率（加圧器）　冷却率：110℃/h以下※ ※：瞬時の制限値の逸脱を許容	・1次冷却材系統	×	×	×								×	×	×	×	×		
	第43条 加圧器	モード3	・加圧器水位が計器スパンの94%以下 ・所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能	・加圧器 ・加圧器ヒータ	×														×		
	第44条 加圧器安全弁	モード3、4（1次冷却材温度140℃超）	・加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器安全弁全てが動作可能	・加圧器安全弁	×	△										△		△	×		
	第45条 加圧器逃がし弁	モード3	・加圧器逃がし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器逃がし弁が動作不能時は、第85条（表85－3）の運転上の制限も確認する。 ・加圧器逃がし弁全てが動作可能 ・加圧器逃がし弁元弁全てが動作可能	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁	×														×		

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程	▽解列	RCS降温			燃料取出	燃料装荷		起動試験	起動前弁点検		調整運転
		R/V開放			1次系弁・ポンプ他点検	R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験	△並列
RCS水位	キャビティ満水										
	RCS満水										
	ミッドループ										
	RCS全ブロー										

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	第46条 低温過加圧防護	モード4（1次冷却材温度140℃以下、ただし加圧器逃がし弁が低圧設定になるまでの間を除く）、5、6（原子炉容器の蓋が閉められている場合）	(1)-1　2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器逃がし弁元弁が開状態 または (1)-2　1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること および (2)　動作可能な充てん／高圧注入ポンプが1台以下（ポンプ切替を行う場合、15分に限り2台運転することを許容） および (3)　アキュムレータが全基が隔離されていること（アキュムレータ出口電動弁の開閉確認を行う場合、アキュムレータ圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に、1基毎に隔離解除を許容）	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁 ・加圧器安全弁 ・充てん／高圧注入ポンプ ・アキュムレータ ・アキュムレータ出口電動弁		△	×	×	△				△	×	×	△	×	△		
	第47条 1次冷却材漏えい率	モード3、4	・原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことが確認されていない漏えい率（未確認の漏えい率）：0.23m^3/h以下（炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置によって測定される漏えい率は全て未確認の漏えい率とみなす） ・原子炉格納容器サンプ水位計によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことは確認されているが1次冷却系からの漏えいでないことが確認されていない漏えい率（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外からの漏えい率）：2.3m^3/h以下 ・原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置が動作可能	・1次冷却材系統 ・原子炉格納容器サンプ水位計 ・炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置	×	×										×		×	×	
	第48条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	・蒸気発生器細管に漏えいがないこと ・蒸気発生器細管漏えい監視装置（蒸気発生器ブローダウン水モニタ）が動作可能（プラント状態により監視ができない場合、または洗浄中は除く）	・蒸気発生器細管 ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	×	×										×		×	×	
	第49条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4（余熱除去系隔離弁が閉止している場合）	・1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと。（余熱除去系の逃し弁が動作していないこと。）		×	△										△		△	×	
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号発生機能	第34条 計測および制御設備（原子炉保護系計装）	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が閉じ、制御棒の引き抜きが行える場合）	・原子炉保護系論理回路：2系統 ・手動原子炉トリップ：2チャンネル ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル※ ※：「中間領域中性子束高」2チャンネルが動作可能であることを条件に、P－6リセット時においては、2チャンネルをバイパスすることを許容。 「炉停止時中性子源領域中性子束高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをバイパスすることを許容。	・原子炉保護計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△						△	△	△	△	△	△	
		モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が開放されている場合）	・中性子減領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△						△	△	△	△	△	△	
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中でない場合）	・中性子減領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン					△	△		△	△							
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中の場合）	・中性子減領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン						△		△								

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程	▽解列	RCS降温	R/V開放	1次系弁・ポンプ他点検	燃料取出	燃料装荷	R/V組立	起動試験	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験	調整運転	△並列
RCS水位	キャビティ満水	RCS満水	ミッドループ	RCS全ブロー									

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号発生機能	第34条 計測および制御設備（工学的安全施設等作動計装）	モード3、4	・非常用炉心冷却系作動論理回路：2系統 ・（非常用炉心冷却系）手動起動：2チャンネル ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路：2系統 ・（原子炉格納容器スプレイ系）手動起動：4チャンネル ・原子炉格納容器隔離A作動論理回路：2系統 ・（原子炉格納容器隔離A）手動起動：2チャンネル ・（原子炉格納容器隔離A）非常用炉心冷却系作動：2系統 ・原子炉格納容器隔離B作動論理回路：2系統 ・（原子炉格納容器隔離B）手動起動：4チャンネル ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離作動論理回路：2系統 ・（原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離）原子炉格納容器隔離A：2系統 ・（原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離）非常用高圧母線低電圧：3チャンネル（1母線あたり） ・原子炉格納容器換気空調隔離作動論理回路：2系統 ・（原子炉格納容器換気空調隔離）原子炉格納容器スプレイ系手動起動：4チャンネル ・（原子炉格納容器換気空調隔離）原子炉格納容器隔離A手動起動：2チャンネル ・（原子炉格納容器換気空調隔離）非常用炉心冷却系作動：2系統	・非常用炉心冷却系作動計装 ・原子炉格納容器スプレイ系作動計装 ・原子炉格納容器隔離A作動計装 ・原子炉格納容器隔離B作動計装 ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離作動計装 ・原子炉格納容器換気空調隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×
		モード3	・（非常用炉心冷却系）原子炉格納容器圧力高：3チャンネル ・（非常用炉心冷却系）主蒸気ライン差圧高：3チャンネル（各主蒸気ライン毎） ・（原子炉格納容器スプレイ系）原子炉格納容器圧力異常高：3チャンネル ・（原子炉格納容器隔離B）原子炉格納容器圧力異常高：3チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	×														×
		モード3（全主蒸気止弁が閉じている場合は除く）	・主蒸気ライン隔離作動論理回路：2系統 ・（主蒸気ライン隔離）手動起動：2チャンネル ・（主蒸気ライン隔離）原子炉格納容器圧力異常高：3チャンネル ・（主蒸気ライン隔離）主蒸気ライン流量高と主蒸気ライン圧力低または1次冷却材平均温度異常低の一致：[主蒸気ライン流量高：2チャンネル（各主蒸気ライン毎）][主蒸気ライン圧力低：3チャンネル（各主蒸気ライン毎）][1次冷却材平均温度異常低：3チャンネル]	・主蒸気ライン隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△														△
		モード3（主給水隔離弁、主給水制御弁、主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合は除く）	・給水隔離作動論理回路：2系統 ・（給水隔離）蒸気発生器水位異常高：3チャンネル（1基あたり） ・（給水隔離）非常用炉心冷却系作動：2系統 ・（給水隔離）1次冷却材平均温度低と原子炉トリップの一致：[1次冷却材平均温度低：3チャンネル][原子炉トリップ：2系統]	・給水隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△														△
		モード3（P－11以上）	・（非常用炉心冷却系）原子炉圧力低と加圧器水位低の一致：[原子炉圧力低：3チャンネル][加圧器水位低：3チャンネル] ・P－11（加圧器圧力）：3チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	△														△
		モード3（P－12超）	・（非常用炉心冷却系）：主蒸気ライン流量高と主蒸気ライン圧力低または1次冷却材平均温度異常低の一致：[主蒸気ライン流量高：2チャンネル（各主蒸気ライン毎）][主蒸気ライン圧力低：3チャンネル（各主蒸気ライン毎）][1次冷却材平均温度異常低：3チャンネル] ・P－12（1次冷却材平均温度）：3チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	△														△
安全上特に重要な関連機能（電源供給）	第34条 計測および制御設備（ディーゼル発電機起動計装）	モード3、4	・ディーゼル発電機起動論理回路：2系統 ・（ディーゼル発電機起動計装）非常用炉心冷却系作動：2系統	・ディーゼル発電機起動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×
		モード5、6、照射済燃料移動中	・ディーゼル発電機起動論理回路：1系統	・ディーゼル発電機起動計装			×	×	×	×	△	×	×	×	×		×		
		モード3、4、5、6、照射済燃料移動中	・（ディーゼル発電機起動計装）非常用高圧母線低電圧：3チャンネル（所要の母線あたり）	・左記信号検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																						
				▽解列	RCS降温					燃料取出	燃料装荷			起動試験		起動前弁点検				調整運転		
						R/V開放				1次系弁・ポンプ他点検		R/V組立			RCS漏えい検査			起動試験		△並列		
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3			
安全上特に重要な関連機能（電源供給）	第73条 外部電源	モード3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・外部電源2回線（当該原子炉に対する個々の非常用高圧母線全てに対して電力供給ができる発電所外からの送電線の回線数とする）以上が動作可能（送電線事故の瞬停時は、運転上の制限を適用しない。） ・上記の外部電源のうち、1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること（独立性を有するとは、「送電線の上流において1つの変電所または開閉所のみに連系しないこと」をいう。）	・外部電源 ・起動用変圧器 ・予備変圧器 ・GLBS（主変圧器、所内変圧器）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	第74条 ディーゼル発電機	モード3、4	・ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・ディーゼル発電機2基が動作可能（予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合、運転上の制限を適用しない。） ・燃料油サービスタンク貯油量（保有油量） ：0.66m^{3}以上（ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。）	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク	×	×										×		×	×			
	第75条 ディーゼル発電機	モード5、6、モード外	・ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・ディーゼル発電機2基が動作可能（予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合適用しない。ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。非常用発電機は、所要の電力供給が可能なものをいう。なお、非常用発電機は複数の号炉で共用することができる。） ・上記ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンク貯油量（保有油量） ：0.66m^{3}以上（ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。）	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク ・非常用発電機（運用を開始するまでは、所要の電力供給が可能な、他の号炉のディーゼル発電機または移動式発電装置を非常用発電機とみなす）			×	×	×	×	×	×	×	×	×			×				
	第76条 ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油および始動用空気	モード3、4、5、6、モード外	・燃料油貯蔵タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料油貯蔵タンクの油量を確認する場合は、第85条（表85－15）の運転上の制限も確認する。 ・所要のディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクの油量（保有油量）：164m^{3}以上※ ・所要のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量（保有油量）：3.6m^{3}以上※ ・所要のディーゼル発電機の始動用空気だめ圧力 ：2.45MPa[gage]以上※ ※：予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合適用しない。ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。	・ディーゼル発電機燃料油貯油タンク ・ディーゼル発電機潤滑油タンク ・ディーゼル発電機始動用空気だめ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	第77条 非常用直流電源	モード3、4	・非常用直流電源2系統（蓄電池（安全防護系用）※および充電器）が動作可能 ※：蓄電池（安全防護系用）は、重大事故等対処設備を兼ねる。蓄電池（安全防護系用）が動作不能時は、第85条（表85－15）の運転上の制限も確認する。	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池	×	×										×		×	×			
	第78条 非常用直流電源	モード5、6、照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統（蓄電池（安全防護系用）※および充電器）が動作可能 ※：蓄電池（安全防護系用）は、重大事故等対処設備を兼ねる。蓄電池（安全防護系用）が動作不能時は、第85条（表85－15）の運転上の制限も確認する。	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池			×	×	×	×	△	×	×	×	×			×				
	第79条 所内非常用母線	モード3、4	次の所内非常用母線が受電していること（所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。） ・2つの非常用高圧母線 ・2つの非常用低圧母線 ・2つの非常用直流母線 ・4つの非常用計器用母線（非常用計器用母線に電源供給する計器用電源（無停電電源装置）は、重大事故等対処設備を兼ねる。）	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線	×	×										×		×	×			
	第80条 所内非常用母線	モード5、6、照射済燃料移動中	所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電していること（所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。） ・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線（非常用計器用母線に電源供給する計器用電源（無停電電源装置）は、重大事故等対処設備を兼ねる。）	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線			×	×	×	×	△	×	×	×	×			×				

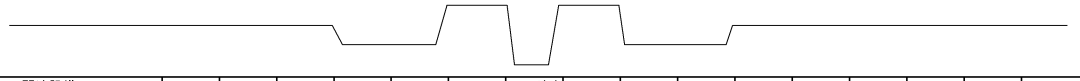
定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程				▽解列	RCS降温		R/V開放	燃料取出	1次系弁・ポンプ他点検	燃料装荷	R/V組立	起動試験	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験	調整運転	△並列										
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																								
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3							
安全上特に重要な関連機能（海水系統他）	第68条 原子炉補機冷却水系	モード3、4	・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条（表85－7）の運転上の制限も確認する。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能	・原子炉補機冷却水系	×	×										×		×	×								
	第69条 原子炉補機冷却海水系	モード3、4	・原子炉補機冷却海水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却海水系が動作不能時は、第85条（表85－7）の運転上の制限も確認する。 ・原子炉補機冷却海水系2系統が動作可能	・原子炉補機冷却海水系	×	×										×		×	×								
安全上特に重要な関連機能（制御用空気系）	第70条 制御用空気系	モード3、4	・制御用空気圧力（母管圧力））が0.59MPa[gage]以上	・制御用空気系	×	×										×		×	×							
安全上特に重要な関連機能（制御室及びその遮へい・換気空調系）	第34条 計測および制御設備（中央制御室非常用循環系計装）	モード3、4	・中央制御室非常用循環系作動論理回路：所要の中央制御室非常用循環系につき2系統 ・（中央制御室非常用循環系）非常用炉心冷却系作動：2系統	・中央制御室非常用循環系計装 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×							
	第71条 中央制御室非常用循環系	モード3、4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系は、重大事故等対処設備を兼ねる。中央制御室非常用循環系が動作不能時は、第85条（表85－17）の運転上の制限も確認する。 ・中央制御室非常用循環系2系統が動作可能	・中央制御室非常用循環系	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	×	×							
制御室外からの安全停止機能	第34条 計測および制御設備（中央制御室外原子炉停止装置）	モード3	・ほう酸ポンプ ・加圧器圧力	・中央制御室外原子炉停止装置	×														×							
		モード3、4	・充てん／高圧注入ポンプ ・加圧器バックアップヒータ ・抽出水オリフィス隔離弁 ・海水ポンプ ・1次系冷却水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・加圧器水位 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気ライン圧力 ・中性子束（中性子源領域） ・1次冷却材圧力（広域） ・1次冷却材温度（広域）（低温側）		×	×										×		×	×							
		モード4	・余熱除去ポンプ			×										×		×								
事故時のプラント状態把握機能	第34条 計測および制御設備（事故時監視計装）	モード3	・1次冷却材圧力（広域）：2チャンネル※ ・加圧器水位：2チャンネル※ ・1次冷却材温度（広域）（高温側）：3チャンネル※ ・1次冷却材温度（広域）（低温側）：3チャンネル※ ・ほう酸タンク水位：2チャンネル※ ・蒸気ライン圧力：2チャンネル（各ライン）※ ・復水タンク水位：2チャンネル※ ・蒸気発生器水位（広域）：3チャンネル※ ・蒸気発生器水位（狭域）：2チャンネル（各SG）※ ・補助給水流量：3チャンネル※ ・燃料取替用水タンク水位：2チャンネル※ ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：2チャンネル※ ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）：2チャンネル※ ・格納容器内圧力：2チャンネル※ ・格納容器内温度：2チャンネル※ ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）：2チャンネル※ ・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）：2チャンネル※ ・1次冷却水タンク水位：2チャンネル※ ・制御用空気圧力：2チャンネル ・高圧安全注入流量：2チャンネル※ ・低圧安全注入流量：2チャンネル※ ※：各計装は、重大事故等対処設備を兼ねる。各計装が動作不能時は、第85条（表85－16）の運転上の制限も確認する。	・左記事故時監視計装	×														×								

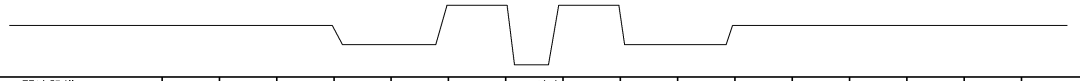
定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程				▽解列	RCS降温	R/V開放	燃料取出	1次系弁・ポンプ他点検	燃料装荷	R/V組立	起動試験	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験	調整運転	△並列				
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
重大事故等対象設備	第85条（85－3－1） 1次冷却系のフィードアンドブリード	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・高圧注入系の2系統が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。） ・加圧器逃がし弁2台による1次冷却系統の減圧系が動作可能	・充てん／高圧注入ポンプ2台 ・加圧器逃がし弁2台 ・燃料取替用水タンク	×	△										△		△	×	
	第85条（85－4－1） 炉心注水－非常用炉心冷却系－	モード3、4、5、6	・高圧注入系の1系統以上が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。） ・低圧注入系の1系統以上が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。）	・充てん／高圧注入ポンプ1台 ・余熱除去ポンプ1台 ・燃料取替用水タンク	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－4－2） 炉心注水－蓄圧注入系－	モード3、4、5、6	・アキュムレータほう素濃度が2,600 ppm 以上 ・アキュムレータほう酸水量（有効水量）が29.0 m^3以上（1基あたり） ・モード3（1次冷却材圧力が6.89 MPa[gage]を超える場合）において、アキュムレータ圧力が4.04 MPa[gage]以上 ・モード3（1次冷却材圧力が6.89 MPa[gage]以下の場合）、4、5および6において、アキュムレータ圧力が 1.0 MPa[gage]以上 ・アキュムレータ出口電動弁が動作可能（手動での開弁および閉弁ができること）	・アキュムレータ3基（モード3（1次冷却材圧力が6.89 MPa[gage]以下の場合）、4、5および6においては2基）	△	△	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	
	第85条（85－4－3） 炉心注水－C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）による代替炉心注水－	モード3、4、5、6	・C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）による充てん系が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。）	・C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）1台 ・燃料取替用水タンク ・復水タンク ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－4－4） 炉心注水－A、B内部スプレポンプ（RHRS－CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水－	モード3、4、5、6	・A、B内部スプレポンプによる代替炉心注水系が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること。）	・A、B内部スプレポンプ（RHRS－CSS連絡ライン使用）2台 ・燃料取替用水タンク	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－4－5） 炉心注水－可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水－	モード3、4、5、6	・可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水系2系統が動作可能	・可搬式代替低圧注水ポンプ1台×2 ・電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）1台×2 ・送水車1台×2 ・燃料油貯蔵タンク ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・軽油用ドラム缶	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－4－6） 代替再循環	モード3、4、5、6	・A、B内部スプレポンプ（RHRS－CSS連絡ライン使用）による代替再循環系が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。） ・B余熱除去ポンプ（海水冷却）およびB充てん／高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環系、またはB余熱除去ポンプ（海水冷却）による低圧代替再循環系が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。）	・A、B内部スプレポンプ（RHRS－CSS連絡ライン使用）2台 ・A内部スプレクーラ1基 ・A・B内部スプレポンプ入口弁（格納容器再循環サンプ側）1台 ・格納容器再循環サンプ2基※ ・格納容器再循環サンプスクリーン2基※ ・B余熱除去ポンプ（海水冷却）1台 ・B充てん／高圧注入ポンプ（海水冷却）1台 ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ※：A、B内部スプレポンプ（RHRS－CSS連絡ライン使用）を用いる再循環用1基およびB余熱除去ポンプ（海水冷却）を用いる再循環用1基	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																			
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
重大事故等対象設備	第85条（85－5－1） 加圧器逃がし弁による減圧	モード3	・窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用）または可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系の減圧系が動作可能 ・可搬型バッテリ（加圧器逃がし弁用）を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系の減圧系が動作可能	・窒素ボンベ（加圧器逃がし弁作動用）4本（1セット4本（A系統3本、B系統1本）） ・可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）2台（1セット2台（A系統1台、B系統1台）） ・可搬型バッテリ（加圧器逃がし弁用）1個 ・空冷式非常用発電装置 ・可搬式整流器 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ	×														×	
	第85条（85－6－1） 原子炉格納容器スプレイ	モード3、4、5、6	・原子炉格納容器スプレイ系（よう素除去薬品タンクを除く）の1系統以上が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること。）	・内部スプレポンプ2台（AおよびBまたはCおよびD内部スプレポンプのうち、いずれか2台） ・燃料取替用水タンク	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－6－2） 代替原子炉格納容器スプレイ－恒設代替低圧注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイー	モード3、4、5、6	・恒設代替低圧注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイ系が動作可能	・恒設代替低圧注水ポンプ1台 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料取替用水タンク ・復水タンク ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・送水車 ・軽油用ドラム缶	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－6－3） 代替原子炉格納容器スプレイ－原子炉下部キャビティ注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイおよび原子炉下部キャビティ直接注水ー	モード3、4、5、6	・原子炉下部キャビティ注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイ系および原子炉下部キャビティ直接注水系が動作可能	・原子炉下部キャビティ注水ポンプ1台 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料取替用水タンク ・復水タンク ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・送水車 ・軽油用ドラム缶	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－7－1） 原子炉補機冷却水系による原子炉格納容器内自然対流冷却	モード3、4、5、6	・原子炉補機冷却水系による原子炉格納容器内自然対流冷却系が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。）	・A格納容器循環冷暖房ユニット1基 ・1次系冷却水ポンプ2台（A、B、C、D1次系冷却水ポンプのうち、いずれか2台） ・1次系冷却水クーラ2基（A、B、C1次系冷却水クーラのうち、いずれか2基） ・1次系冷却水タンク1基 ・窒素ボンベ（1次系冷却水タンク加圧用）1本 ・海水ポンプ2台（A、B、C、D海水ポンプのうち、いずれか2台） ・可搬型温度計測装置（格納容器循環冷暖房ユニット入口温度／出口温度（SA）用）	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－7－2） 大容量ポンプによる原子炉格納容器内自然対流冷却および代替補機冷却	モード3、4、5、6	・大容量ポンプによる海水供給系（大容量ポンプから海水管および原子炉補機冷却水管接続口までをいう。）2系統が動作可能	・大容量ポンプ1台×2 ・A格納容器循環冷暖房ユニット ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・可搬型温度計測装置（格納容器循環冷暖房ユニット入口温度／出口温度（SA）用） ・B余熱除去ポンプ（海水冷却） ・B充てん／高圧注入ポンプ（海水冷却） ・空冷式非常用発電装置	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																			
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5－1	5－2	6－1	6－2	モード外	6－2	6－1	5－2	5－1	4	5－1	4	3	
重大事故等対象設備	第85条（85－8－1） 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・モード3および4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）において、復水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。） ・モード3において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統が動作可能（ポンプが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。タービン動補助給水ポンプについては、原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行っている場合、運転上の制限は適用しない。タービン動補助給水ポンプが動作可能とは、現場手動による起動を含む。）	・電動補助給水ポンプ1台 ・タービン動補助給水ポンプ1台 ・タービン動補助給水ポンプ起動弁（現場手動操作）1台 ・蒸気発生器3基 ・復水タンク ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・送水車 ・軽油用ドラム缶	×	△										△		△	×	
	第85条（85－9－1） 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・主蒸気逃がし弁が手動での開弁ができること（現場手動含む）	・主蒸気逃がし弁3個	×	△										△		△	×	
	第85条（85－10－1） 水素濃度低減	モード3、4、5、6	・静的触媒式水素再結合装置の所要数5基が動作可能 ・静的触媒式水素再結合装置温度監視装置の所要数5個が動作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数12個が動作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の所要数12個が動作可能	・静的触媒式水素再結合装置5基 ・静的触媒式水素再結合装置温度監視装置5個 ・原子炉格納容器水素燃焼装置12個 ・原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置12個 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－10－2） 水素濃度低減	モード3、4、5、6	・可搬型格納容器内水素濃度計測装置等による水素濃度監視系が動作可能	・可搬型格納容器内水素濃度計測装置1個 ・可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ1台 ・可搬型格納容器ガス試料圧縮装置1台 ・格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器1個 ・格納容器雰囲気ガスサンプリング湿分分離器1個 ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－11－1） 水素排出、放射性物質の濃度低減	モード3、4、5、6	・Bアニュラス循環系が動作可能（ファンが手動起動（系統構成含む）できること、または運転中であること。） ・代替空気（窒素）系統が動作可能	・Bアニュラス循環ファン1台 ・Bアニュラス循環フィルタユニット1基 ・窒素ボンベ（アニュラス循環系ダンパ作動用）1本 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－12－1） 海水から使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・送水車による海水から使用済燃料ピットへの注水系2系統が動作可能	・送水車1台x2 ・軽油用ドラム缶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第85条（85－12－2） 使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋外に配備する設備について2系統（1系統とは、屋外に配備する送水車1台）が動作可能 ・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋内に配備する設備について1系統（1系統とは、屋内に配備するスプレイヘッダ2個（1セット1個、予備機1個を含む。））が動作可能	・送水車1台x2 ・スプレイヘッダ2個 ・軽油用ドラム缶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	